

覆いかぶさるビル
のない
高い所が好きだ
視野を狭めるもの
のない
広い所が好きだ
何にも邪魔されず
空を体で感じ
しせんに溶け
こめるから
自分自身
空になれるから



Reading Peace Search

SEARCH

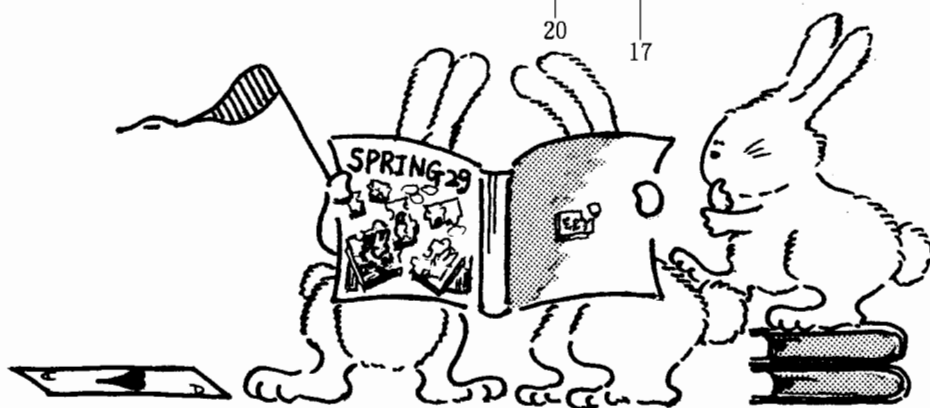
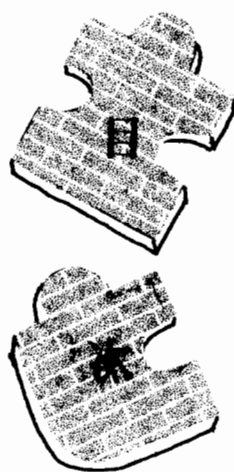
- 大手前高校略図 7
- おおて MAE 私設探偵団 9
- クラブ・アンケート 11

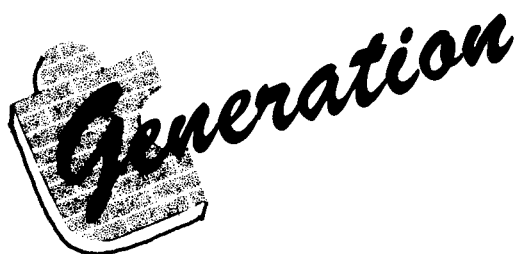
PEACE

- 修学旅行と平和学習 18
- 修学旅行を振り返って見て 20
- 修学旅行 MEMORIES VERSION 22

READING

- しいはく 27
- ある童話 28
- 岡山の頃 30
- フリートーク 34
- 少年色のメルヘン 37
- 愛すべき小心者よ 41
- 武道のスポート化「私と空手」 42
- 上町台地に雨が降る 44
- 信じるもの 45





● 編集後記

70

各ページ下には、寄せられた
40字メッセージ掲載

● 共通責任論

68

GENERATION

64

● 破壊・汚染・そして保全

60

● マサギマダラの習性

61

● 単なるひとりごと

63

NATURE

59

● あなたと自治会

47

● 行事紹介

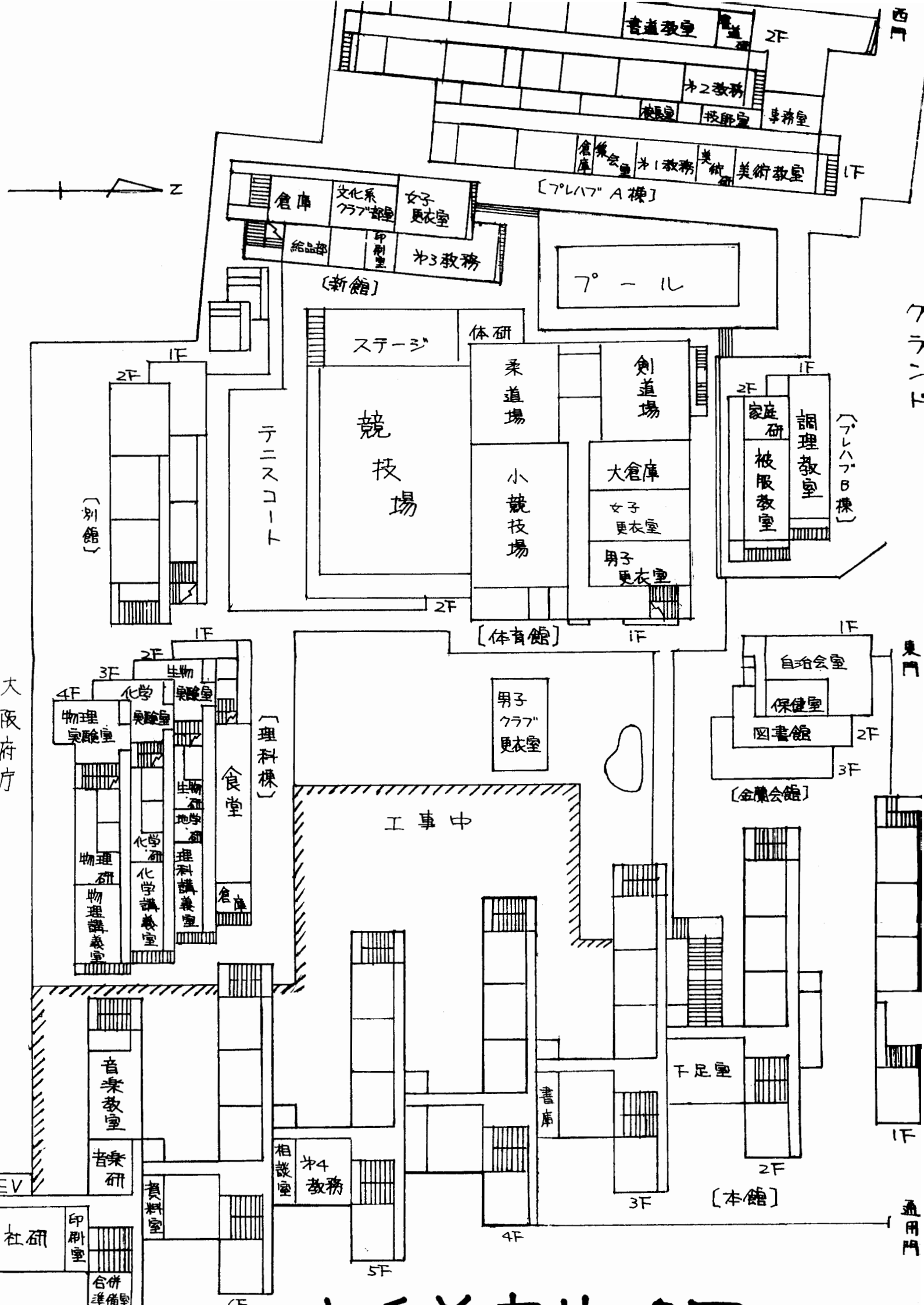
53

● 先生紹介

55

INTRODUCTION

46



Search

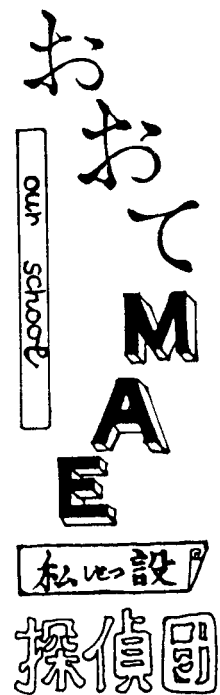
—————調査，捜査，詮索，吟味，探求，…………

探求心。

人は、生きている限り——否、こころが
生きている限りは、探求したい生き物だと思
う。もしかすると

“探求”したくなくなった時には人間は
“生きて”いないのかも——しれない。

SEARCH!



百余年の歴史を誇る大手前高校。そこには、普段気が付かない謎
がいっぱい。新一年生として入学して、一度は思ったはずです。
「この高校には、何てナゾが多いんだ!」（特に旧本館ね。）

今回取り上げた九つの項目だけでなく、他にも多々“不思議”は
あるはずです。あなたの近くの、あなたの見えない処で、しつとり
と苔生し、ひっそりと音をたてて発酵しているのです。

※この「おおてMAE私設探偵団」の設立（ちょっと違うかな？）に
際しまして、某先生の多大な御協力をいただいたことを、とても感
謝します。

①名列表で女子が男子より前に置かれている。

元女子高だからというのは俗説。もし、男子が前だったら体育館
での全校集会で女子が男子の後ろになる。すると、背の高い男子
のため女子は前が見えなくなる。先生も女子の並び方が分からな
い。これでは困る。昭和40年頃からこうなったらしく、それまで
は男女混合で五十音順だった。

②本館より古い建物を新館と呼ぶ。

普通、新館と本館があれば本館が古くて新館が新しい。ところが大手前高校では新館が本館よりはるかに古い。建設中の校舎を88年11月より本館と呼ぶ事になったので前からいる者はなんでも無いが、初めて聞く人は面食らうだろう。

③一人当たり校地面積は86㎡(≡たった0.66m四方)で大阪一狭い

大手前高校の敷地2144㎡それに対して生徒は全日制で二一〇人、定時制で三八五人だから一人当たり校地面積86㎡となる。大手前高校と同じ生徒規模の某M高校は校地面積が大手前高校よりも広い29283㎡なので一人当たり校地面積は10.9㎡と余裕たっぷり。

④周りより高いのに水捌けの悪いグラウンド。

普通、高いところは水捌けが良いはず。なのに本校のグラウンドはどうしたことが……？ 水分たっぷり。

⑤一運動部当りのグラウンド面積はたった1505㎡。元々グラウンド

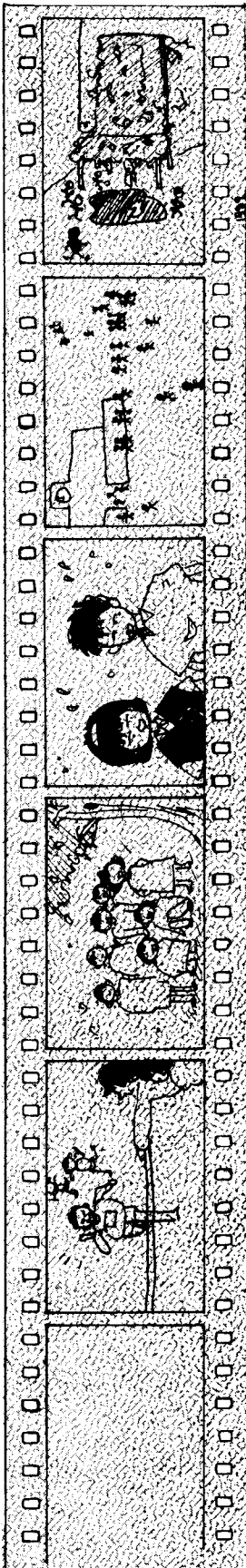
面積は9030㎡そこへグラウンド利用の部はラグビー、陸上競技、硬式野球・軟式野球・ソフトボール・サッカーの6部。9030㎡を6で割ると、一部当り1505㎡。

※大手前高校の地価はいくら？狭いなどと文句を言ったら罰が当る。

⑥学校の敷地の中央部にある門を「東門」と呼ぶ。希代^{けったい}やなあ。⑦誰も使わないのに時々階^{かい}に行き、空しくドアが開き閉まるエレベーター……。

⑧誰も歌えない曲が生徒手帳に載っている。

オマケの⑨一部の大手前生の通学に利用されている、地下鉄中央線緑橋駅。この駅の出口は四つ。即ち2番出口↪5番出口である。一番出口はどこへ……？



クラブ・アンケート

in:
大手前全日制

※今号で？回目を迎えることとなりましたクラブ・アンケート。今回は少し変わったものと、各クラブに俳句を一句ずつ詠んでもらいました。もともとクラブ・アンケートは俳句調漂ようものでしたので、どんな感じになったか不安ですが……。この企画で、各クラブのイメージに新しいものが加われば、或いは、格調高き伝統に磨きがかかればいいな……と思います。又、入部の際の、豆アンチヨコぐらいになれば幸いです。

御協力、どうもありがとうございました

＝アンケート内容＝

- 1 部員数・活動日・活動内容は？
- 2 大手前にとってどんな存在ですか？
- 3 クラブのモットーとは？
- 4 新入部員呼び込みをひとつ。

※以下の表は、各クラブの個性を忠実に再現するために編集段階では、ほとんどの回答には手が増えられていませんのであしからず。

(つまり誤字などは、クラブの責任だったりする……)

柔 道 部			剣 道 部		
3	2	1	3	2	1
終わりをければすべてよし	部員は少ないけれども、めげずにがんばっているクラブ	6人・月々土で柔道とバーベルを週に半分ずつします。	練習厳しく終れば楽しく	夏は大手前のサウナ、冬は大手前の水風呂と変身します。	現在33名（男17女16）月々土まで剣道場で練習しています。
4			4		
精鋭たちよ集まれ！			諸君のやる気と根性を求む		
水 泳 部			サ ッ カ ー 部		
3	2	1	3	2	1
強い精神と自己の確立	夏の練習の厳しさと伝統の重さで有名	30人ほどの部員で、ほぼ毎日活動夏は水中冬は陸トレ	厳しく楽しく手をぬかず	あったらうるさいけどなかったらさびしいような……	2年生約40名3年生22名で月々土までサッカーやっています。
4			4		
やる気と忍耐がある人募集			可愛いマネージャーが君を待っている		

二次会に行けば二浪、三次会に行けば三浪——行かなくても一浪なんですね

男子バスケット部			硬式テニス部			卓球部			創作ダンス		
3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
限られた時を全力で！	大手前を語るには欠かせない、伝統のあるクラブ	部員数24名毎日活動。個性を伸ばす中味の濃い練習	他人との調和自己の追求	他の運動系クラブとは少し異質の存在。	今、30名程で月々土曜日までコート狭しと練習また練習	それは個人個人で持つのだ。	少人数の割には存在感があり目立たないよう目立つ	男子10人女子3人。月々土基礎練習、トレーニング	いつでもどこでも美しく！	文化祭の花、運動系で唯一「芸術」表現する知的なクラブ	部員22名月々土の放課後、柔軟、体作り、創作ダンスが主
4			4			4			4		
君の可能性をバスケット部に！			やる気と根気のある人歓迎			経験者でも初心者でも歓迎			身体の固い人も大歓迎!!		
女子バスケット部			軟式テニス部			登山部			男子ソフトボール部		
3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
ボールは友達	大。	20人で毎日体育館や大阪城を走りまわっています。	ぎりぎりいっぱい努力	まさに軟庭は大手前の摩可不思議!!	男子17名女子29名マネージャー3名 活動日は月々土	あだ名で呼び合う家庭的な雰囲気	たかが登山部されど登山部しかし登山部と奇妙な存在	総勢25人 月々土 大阪城梅林にて城壁登り、筋トレなど	三拍子そろった選手育成を	運動部では一、二を争う低年費。でも校内では台風の目	部員24名マネージャー多数。毎日どこかで練習するぞ
4			4			4			4		
まとめてめんどろ見ます			初心者マネージャー大募集			さあ来いそれ来いすぐ来い			インターハイに出るなら		

E S S			ラグビー部			硬式野球部			男子バレーボール部		
3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
Have a good time!	あつてないような空気みたいな存在である。	女の子ばかり14人で火曜と木曜英語を楽しんでいる。	う	楽しい練習で花園に行こう	常にもんなの中心でありたいと思つてゐるが……。	総勢35名、日曜・祝日を除く毎日主に基本を練習します。	最後まで試合を捨てない	いろいろな面でわりと目立っていて存在感があると思う。	部員26名活動は毎日1日おきにグラウンドで練習する。	バレーは、人生なんだよ!	毎日の練習は21人のやる気がみなぎつた効率の良い練習
4			4								
優しい先輩が待っている!				一芸に秀でる者求む			野球が好きなら大歓迎			162cmが君を待っている。	忠実な審判で校内球技大会を支える21人の変わり者集団
映画研究部			陸 上 部			軟式野球部			女子バレーボール部		
3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
部長さんを大切にしよう!	誇り・精神・浪漫・明日・アドルナリン・とうふのかど	5名、活動日は気まぐれ映画をビシバン作るのさっ	STEP・BY・STEP	大手前で一番速いランナーは陸上部以外からは生まれません。	約八十人、月曜日を除く毎日、非常に質の濃い練習内容。	明石が僕らを呼んでいる	まさに大手前の顔「格調高雅」 「意趣卓逸」です。	2年15人1年20人月々土 主に軟球で野球をしています。	明るく元気にきびきびと!	すばらしい成績を残し大手前の誇り高きO.E.S!! デス	2年21人1年18人の大人数でぶれいはい毎日やっています
4			4			4			4		
諸君の青春ここにあり			個人的人材お待ちします。			初心者熟練者プロ大歓迎!			練習熱心は大歓迎!		

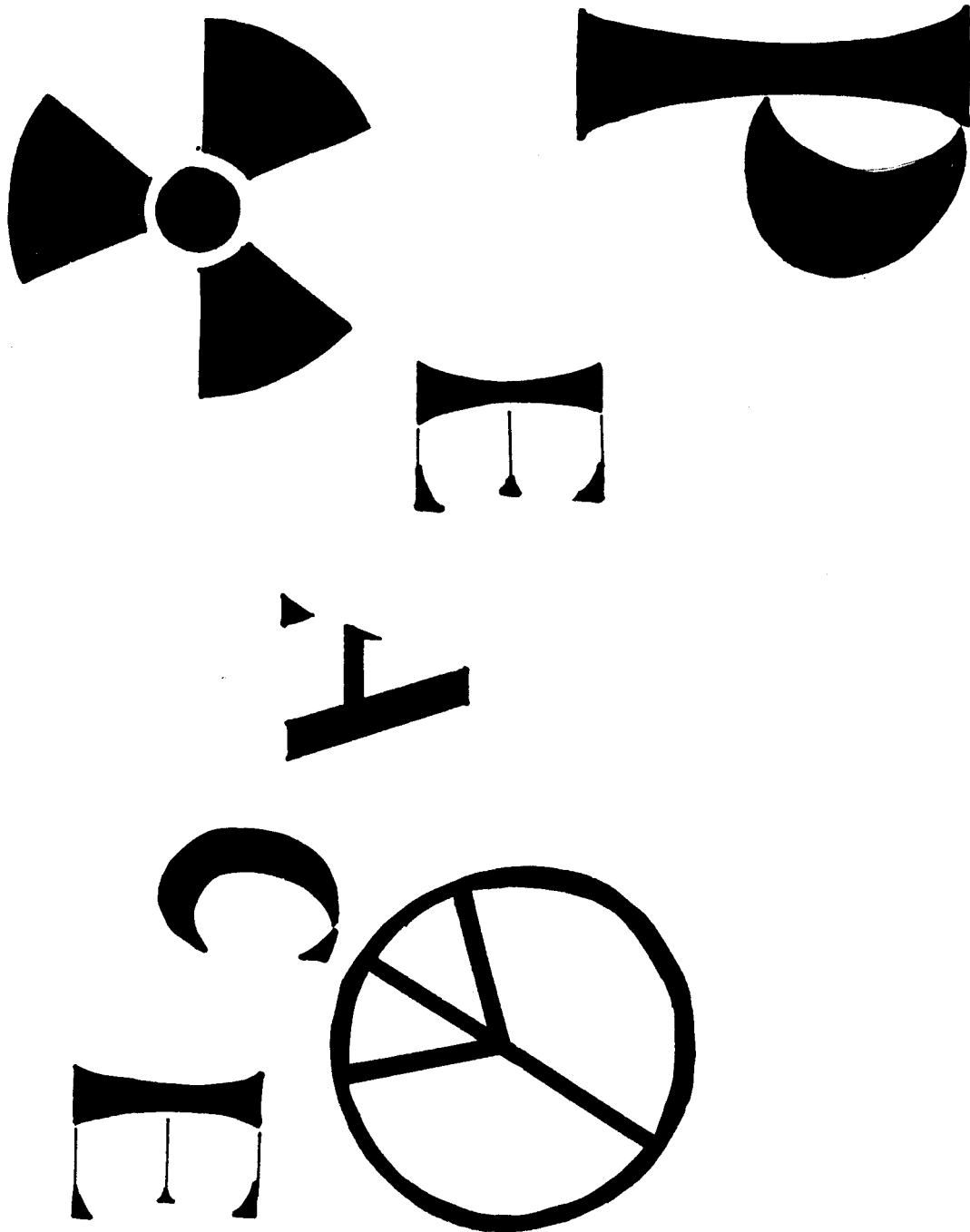
写 真 部			コーラス班			軽 音 班			演 劇 部		
3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
清く明るく美しく	絶対なくてはならないクラブ	部員3名、木曜活動、活動内容は印画紙現像、撮影等。	声と声をあわせるのがミソ	「コーラス班」という、部にはならない存在である。	約40名。月々木。年一度の大会と数回の発表会に出場。	清く正しく美しい演奏	空気（存在はうすいが、なくてはならないもの）??	部員22名、毎週金・土曜、各バンドで練習	短期集中！	タイムマシン（自分の思いこみでどこへでも行ける。）	13人（女）週3日（火・木・金）筋トレ・発声・劇
4			4			4			4		
どんな方でも歓迎			LET'S SING！			初心者大歓迎！！お気軽に			スタッフ役者どちらもOK		
生 物 部			吹奏学部			新 聞 部			書 道 部		
3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
やりたい放題	みんなが口を揃えて言います「そんなクラブあったん？」	素敵な部長＆会計が2人で楽しく好きなことをやっています	明るく楽しく AT・HOME	行事参加した時と練習（うるさい）の時だけ目立つ存在。	男子11名、女子34名、練習は月曜日から土曜日まで。	陽気にイキイキと。	叩かれても蹴られても起き上がる雑草のようなもの。	8人。特に決まっていない。地道（？）に新聞作り。	1に集中！2に…！！	道端にひっそり咲き誇るたんぽぽのような存在。	2年8人。活動日は月曜・金曜の週二回。
4			4			4			4		
部長になってみませんか。			やる気のある人大歓迎。			入ればあなたは報道人。			どなたでもお気軽に。		

理化学研究部			文 芸 部			美 術 部			地 歴 部		
3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
無理、無駄、無謀！	必要不可欠。ウチのクラブがなくなれば大手前は滅ぶ。	50余名もの部員が毎日、化学物理天文の活動を行う。	類は友を呼ぼう	一見目立たないが、実は影の実力者？人脈が結構広い。	10人。行事前は連日。政経倫理、心理等多種多様な活動	あらそれ何のことかしら	あれく存在がないよう。どっかに落としてきちゃった。	7人の大和撫子+黒一点。月水金美術室でやっています！	蚊と寒さに負けない体力	ほとんど知られていない超マイナーなクラブです。	6人、毎週(?)火・木・土の放課後に集まっています。
4			4			4			4		
入部すること火のごとし			貴方の訪ひを待っています			あーとくらぶへおいでませ			我らは君を待っている。		
ゲーム研究同好会			落語研究同好会			漫画研究同好会			フォークギター同好会		
3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
明るくハタタリなし！	全く何にも貢献しておらず肩身のせまい同好会。	昔4人昔火木土昔主に高級なゲームをしております。	人にやさしく	階段ですれちがうと、笑われたり石を投げられたりします	11名、毎週金曜日の放課後に練習をしています。	アミダ精神に基づく無責任	自治会の下働き。大手前の遊牧民(もしくはゲルマン)	10人。毎週火・金曜日。クラブ誌づくり。趣味の対談。	ギターと歌でランラン	愛と浪漫をみなさんにさしあげる最も可愛い倶楽部です。	4人、週二回、ギターと歌を主に和やかな雰囲気です。
4			4			4			4		
今は休部中だが将来顧問を見つけて引き継いで下さい			心からお待ちしています。			絵が上手くなるでせう。			ギターの世界で過ごしましょ		

そこぞう句



女子バスケット部 美しや バスケットボール している娘	男子バスケット部 青春よ コートに燃える 跳べ走れ	硬式野球部 野球部は 大きな声で あいさつを	軟式野球部 綺麗だね 今日から軟野の マネージャー	サッカー部 声だそう 頑張っていこう 元氣出そう	ラグビー部 春雨や ツアーツアーと ひとのいふ
水泳部 夏すぎて まぶしいえがお 水泳部	陸上部 あしたから みんなであらう ランランラン	硬式テニス部 この瞬間も うまくなるため テニスする	軟式テニス部 軟庭は ぼくの青春 きみの星!!	女子バレー部 美少女も コートの中では 平気なの	男子バレー部 いつだって どこかおかしな 排球部
創作ダンス部 月見れば そうさくダンス ここにあり	登山部 山のぼり 山頂きわめて ああ青春	剣道部 たのしいな やさしい?顧問 剣良い先輩	柔道部 あなわびし 部員が増えれば いとうれし	卓球部 部長の部長 による部員のた めの政治	ソフトボール部 お勉強 ソフトも遊びも 教えます
書道部 放課後に 墨の香ぞする 書道倶楽部	新聞部 締め切りは 破られるために ある物よ!	写真部 くらやみで げんどうえきが めにしみる	コーラス班 歌っても 上手くならない コーラス班	軽音班 もえつきよ けいおんライブ おおてまえ	演劇部 気がつけば あしたは本番 ゲゲゲのゲ
E S S 英語だと 毛嫌いせずに 来て下さい	文芸部 外面と 中身の違う 文芸部	美術部 はいつでも みんなであらう こわくない	地歴部 地理・歴史 略してこれを 地歴とす	生物部 熱帯魚 焼いて食べても うまくない	吹奏学部 クラブ中 1番仲のいい のは誰だ!?
故ゲーム研究同好会 同好会	落研 五月雨を 集めてはやし 最上川	漫研 ふはははは くらえせきしき めいかいは	フォークギター同好会 言葉より ギターで一曲 愛、告げる	理化学研究部 これやこの 夏至下車外書の 理研かな	映画研究部 すぎがあつ たらかかってこ んかいっ!



修学旅行と平和学習

PEACE（平和）ということが現在、世界でも広くうたわわれているが、果たして僕達は日頃真剣に平和について考えたことがあるだろうか。……と言っているこの3行を読んだだけでもうページをめくっている人が居るはずである。僕としては出来るだけ多くの人に読んでもらいたいので、できるだけ堅い表現は避けたいと思うが、課題が課題だけにいいかげんな気持ではいけない。いわゆるメリハリをつけていきたいと思う。

さて、本題に移ろう。我々は日常平和について考えることに疎遠だと考えがちであるが、案外身近に平和を訴えるものと接していることがある。例えば、写真を撮る時のピースサインは一つの平和への訴えである。又、日頃ラジオなどでかかっている音楽にしても平和を訴えるものが意外に多い。外国ではステイビーワンダー等、日本では昨年の夏に反原発レコードをめぐる様々な論議をまきおこしたRCサクセションや、紅白にも出場した爆風スランプや他のアーティスト達が多勢、広島で平和記念コンサートを開いたりして、大反響をよび、「君を守りたい」というシングル盤もリリースした。

又、平和のシンボルである鳩も外へ出れば大抵お目にかかるであろう。でも道端で鳩を見つけて平和のシンボルだと考えることはそうない。だから、鳩に関しては誰も意識が薄いという事であろう。そして昨年のソウルオリンピックのメダルの裏には鳩が刻まれている。又、TVや新聞などマスコミにも平和についてしょっちゅう伝えられている。でも、ピースサインにしても一つのポーズと化してし

まっているように、今までに本当に平和について真剣に考えたことはあるのかと聞かれると、あるとは言えないのではないか。

我々2年生は、丁度昨年10月に長崎へ修学旅行に行き、そこで原爆の被害を受けた人々の講演を聴いたり、感想を述べたりした。又、長崎市内で班別自主行動をとったり、市内の国際文化会館で資料の写真や、物品等を観た。そこで、2年生から76人にアンケートをとった。

Q・1 長崎へ行って平和というものをどう学びましたか？

A1 今までは平和が当然だと思っていたがすごく特別な状態であるように思えた。

A2 戦争による心の傷は何十年たっても治らないということを考えると、平和とは人類全体が自分以外のことも思いやることだと思った。

A3 平和というのは特にそれを感じない、身近にある物又そうあるべき物又は事であると思う。しかしそれは守らなければならない。

A4 国際文化会館5Fのメッセージノート（高校生用）を見た時、あまりの単調さと、いい加減さに危惧を抱いた。

A5 平和というものはその時代の認識によって移り変わっていく。又、個人の観念によっても移り変わっていく。

A 6 私は日本は平和だと思っていたが長崎に行って被爆者の方

の嘆き（政府の被爆者に対する対応のひどさ）をきいて本当の平和はまだやってこないんだなあと思った。

A 7 戦争というのは、自分の自由がなくなって死んだりけがを

したりする。平和というのは、こんなことのない、みんなの気持ちがいい方に向かっている世界である。

その他色々あったが、総括してどれも平和を強く望んでいたし、

やはりこれからずっと守り続けなければならないというのが皆の意識にあったようだ。

そして1日目の夜、1クラスか2クラスに1人、被爆された方による講演がそれぞれの部屋であった。

Q・2 被爆された方の話を聞いてどう思いましたか。

A 1 被爆者による講演だったので真の平和とは、と考えた。その

ことでこれから積極的に平和というものをさらに追求し、誠意のある大人になり次の子供達に伝え、子供達を守っていかうと思った。

A 2 活字などによっておおげさな昔話のようになってしまいう話

が、被爆された方の生の声によってすごく恐しく感じた。

A 3 原爆は人の命をじわじわえぐり取っていくものだというこ

とを思い知らされ、二度とあんなものを作ってはならないという、誓いにも似た気持ちがおこった。

A 4 今あるものよりずっと小さな爆弾なのにあれほどの惨事を

生んだということが話から痛切に感じられた。やはり核というものは存在しない方がいい。精一杯戦争を防ぎ平和を勝ち取るべきだ。

A 5 やはり原爆は恐ろしく不幸しか生まない。話を聞いてその

場を想像するとやはりあまり気持ちのよいものではない。しかし私は原爆に対して多少認識をもっただけで、何をすればよいのかわからないし自分の力なんて非力だと思った。

A 6 せすにはいられないという思いで、平和運動をなさってい

る。その使命感のようなものに従って生きておられる姿に感動した。

A 7 とても生々しくて、聞いていてぞっとしました。やはり生

で聞くと真にせまるものがあります。これを聞いてから国際文化会館へ行った方がよく分かると思います。

A 8 講演は被爆された方の一言一言に自分達がしなければなら

ないことが含まれているような感じで感動した。今思うと時間がもう少しあってもよかったのではないか。

A 9 悲惨な原爆を実体験された方の話を聞くと、やはり如実に表れてくるものを感じとることができてよかったのではないだろうか。この出来事を伝えるためにもこういった修学旅行は必要だと思います。

補足すると、A 8で、時間の事が出ていたが、講演の時間は大体のクラスが40分と80分位であったと思うが、実際、お話を聞いている間は何分だったか分からない位のものであったことは確かである。又、この日は初日でもあったので行程が遅れ、時間が短くなったのはやむを得なかった。そしてA 7で国際文化会館について触れていたが、A班は講演を聞いてから国際文化会館へ行ったがB班は国際文化会館へ行った後で講演を聞いた。

平和というのは確かに抽象的で永遠的なものであり、多くの意味を持つが、一つだけ言えるのは戦争は決して許されないということであろう。又、自分なんかは非力だと言う人も居たが、事実、こうして平和を主張しているのであるから、たとえ及ばなくてもたとえ小さくても力になっていると思う。そして小さな力が全世界に広がれば大きい力になるはずだ。

そして僕が思う所、アンケートの中にも、又、この文章中にも様々な強調が出て来るが、それは他に表現のしようがないのである。これもやはり講演を聞いた人には分かるであろうがこれに相当

することは話されたことを全部始めから話すこととしかないのである。

修学旅行を振り返って

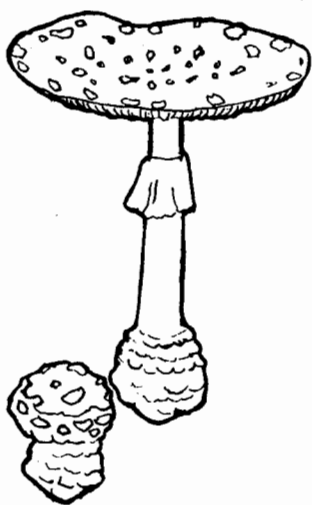
2年

M・N

あの、何やかんや言いながら自分では興奮していた、五日間が一ヶ月も前のことになった。今、冷静になって考えると、修学旅行が持っている良さ以外に、幾つかの世界を見たような気がする。被爆国の日本で生まれたのに、その割には原爆のことを知らなさすぎた。そんな自分には被爆者の方の話は為になった。四十数年前に現実に起こった事を、何気なく聞いていたけど、長崎という普通住み慣れた土地とは違う所で、実体験を語ってもらうのは、心引くものを感じる事ができた。それに、国際文化会館を訪れたのも、ショッピングな写真や痛々しい写真などがあって、目をそらしたくなってしまふほどの物も多少はあったが、戦争の恐しさ。醜さ。当時、戦乱の中を駆け回った人々の悲しさや恐怖感、死がせまり来る状態での毎日の不安などを、この目で感じる事ができたので、これからの生活にプラスになったと思う。しかし、まだ自分は、口ではいろいろ言いながら、心に「戦争」というものを十分に刻みつけてないのではないかと半分感じている。なぜかというと、人間は感情的な生き物と言われるように、他人の苦しみ、悲しみを共感する

ことは、誰にでもできると思うからだ。相手の気持ちを察して。今はそれを感じとったという段階である。だから次は、自分としてはそれからもう一步進んで、将来に役立てたいと思っている。普通一般の生活では、戦争、原爆と言った言葉は、新聞で見たり、あるいは他国の事でしか聞かない。関係が薄く思えるが、日本はそんな道を歩まないようにするのが将来を担う自分達の役目だと思う。身近な事ででもそうではないかと思うのだが、障害者の人達を助けたり、社会福祉に間接、直接に力を貸すのも戦争のむごさを伝えることと本質的には何らかわりがないと思う。自分達は戦後、四十数年経て、現在生活している人間だから、戦争の事もまた聞きで、体験した人よりは想像の分だけ、生々しさに欠けるだろう。だから、伝えることはできても、語ることはできないだろう。だけど、その意志を人助けという事に行うには、申し分ないと思う。自分達は、戦争の恐怖を知らない時代に生まれた子だから、真実味に欠けるかもしれないが、意志は受け継ぐことが出来るのだと。

平和というのはきつと他の世界とうまく共存していくことだと思う。その世界とは人と人の世界から宇宙と宇宙の世界までか、ひょっとするともっと無限大にあるのかも知れない。だから、平和というのは自分中心では絶対に成り立たない。平和を保とうとするのなら、必ずどこかで謙譲しなくてはならないし、どこかで主張しなくてはいけないのではないだろうか。又、平和を追求しているこの時こそ平和なのだという人も居るが、そうなのかもしれない。だから、ここまで書いて来た事が全くの嘘にならない様、以後、自分中心的な考えをできるだけ改め、いましめて、いきたいものだ。こんな事を言っておきながら、結局平和というのは個々の課題なのだと思う。だから新1・2年生の人や卒業生の人達もこれからの課題にしてもらいたいと思う。



大手前生——右から普通人を通して左まで、何でもいる

修学旅行

MEMORIES VERSION

学習する時は学習する、遊ぶ時は遊ぶというのが大手前生だ！という訳で再びアンケートを取り挙げてみる。

Q・1 今年はA・B班に分割して旅行したのであるが、それについてメリットとデメリットをたずね、A・B班別にまとめました。

A班 メリット ⊕	B班 メリット ⊕
1位・行動がすばやい、スムーズ ・集合が速い ・見学で混雑しないetc 2位・九住登山の山頂など所々で 出会うのが感動的だった。	1位・行動がしやすい、スムーズ etc
デメリット ⊖	デメリット ⊖
1位・会えない友人が居る 2位・A・B班の差 (ホテル・行先・料理) 3位・B班のキャンゾフアイヤー が見られなかった。 ・デメリットはない。	1位・会えない友人が居る。 2位・キャンゾフアイヤーは大勢 の方が盛り上がる、A班の が見られなかった。

1/23 出発・長崎(大浦天主堂・グラバー園)

長崎市内泊・夜▶被爆者の方に対する講演

1/24 長崎班別自主行動・国際文化会館(集合・観覧)

23 雲仙温泉泊の夜▶湯のみ(後で555)の船たけ

1/25 16-ルインフリーに於島根港〜三角港・湯治

阿蘇(草千里) 湖の本高原泊・夜▶アサヒマ

1/26 久住登山・やまのみハイウェイ

別府港〜えんじうわあ船中泊

1/27 朝 大阪南港道バス学校道・解散



1/28 修学旅行 旅程：△班

1/23 出発・長崎(国際文化会館)

長崎市内泊・夜▶被爆者の方に対する講演

1/24 長崎班別自主行動・大浦天主堂(集合・観覧)

グラバー園・23 島根温泉泊の夜▶A班は同じ

1/25 有明五子に於多比良〜長川・湯治・熊本

水前寺公園・阿蘇(草千里)・湖の本

1/26 九重高原泊▶夜：アサヒマ・アサヒマ

九重登山・やまのみハイウェイ

大分港〜アサヒマ・アサヒマ船中泊

1/27 朝 神戸(六甲方面)道着▶バス学校解散



その他

A班④ 別れてもかなりの人数だからこれ以上増えたら苦しかろう (A)
A班①として、A・B班の差というのに対して
B班④として、“ホテル清風”というとても良いホテルに泊まれて食事
もおいしかった (B) という意見もある。
B班④として見学する範囲が広くなく (B)
A・B班の両方に①として、A・B班思い出が異なるとか話が合わない
とかありましたが、なるほど…と思いますね。
B班①として登山の道がしんどいともありました。

Q・2 修学旅行中何が一番面白かったですか。

A班	B班
1位・夜のお喋り	1位 キャンプフナー (フョークダンス・漫才等)
2位・久住登山 ・フェリー中	2位 班別自主行動
3位・班別自主行動	3位 久住登山

その他 先生に内緒でフェリーの甲板に出て来たもののコンタクトを
落としてしまった人

…この後どうしたんでしょうか…。

こっそりと夜中瀬戸大橋を見に行った人

…確かAM3:30ごろでしたっけ？

熱を出して寝込んで持って行ったチリ紙をはなをかむために
全部使った人



長崎 平和公園にて

…帰るまでに治ったんでしょうか？

露天風呂に入ったこと (A)

…ノレンが冷たくありませんでした？

行きでグリーン車に乗れたという人もいました。

どれもが一番面白かった。

…誰もがそう思っていることでしょう。

Q・3 九州へ来てよかったと思う事は何ですか

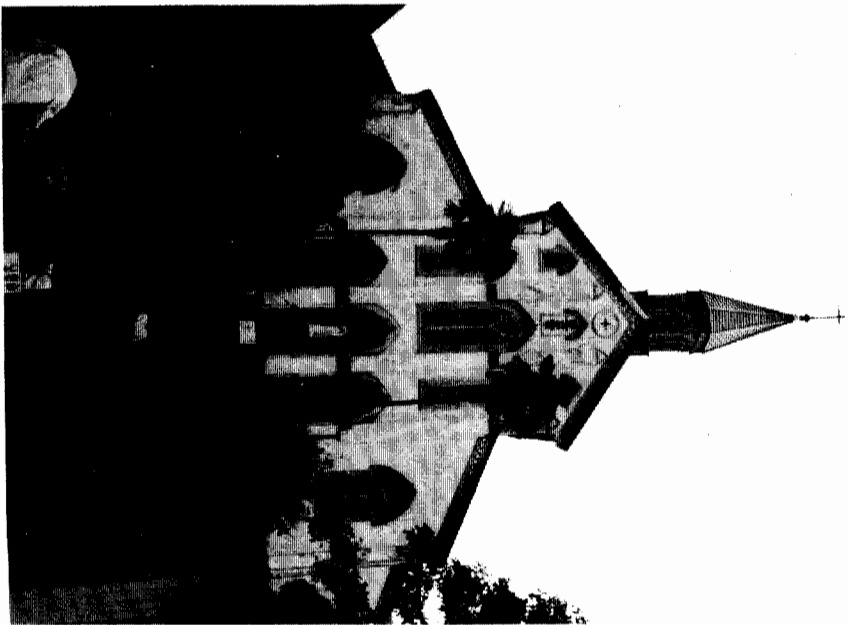
班	A	B
1位	景色がよい。 (長崎湾の夜景、草千里等)	自然の雄大さを感じた。 (草千里等)
2位	・長崎・草千里等知らない所へ来れた。 ・平和の尊さを改めて実感した。	(ホテル清風から見た) 夜景
3位	自然に出会えた。	・大阪・本州から脱出した。 ・本場チャンボン・皿うどんが食べられた。

景色…これは確かに良かった。船の電灯が真っ暗闇の海に映って水平にゆっくりと動いていくのが印象的でした。

自然…空気もきれいでした。チェックよろしく。

本場チャンボンetc…店の人が中国人だったんですよ、これが美人で…。

その他



大浦天主堂

すみません、手を貸して下さい。——利子は2割でいいですか？

文明堂のカステラ…買い損ねて別府で買った人も居ました…。

九州弁の親切な人々と出会えた…グラバー園で大手前卒の先輩にも会いましたっけ。

北海道は寒いし沖縄は暑い。だから九州は最高！

…10月下旬だというのにバスにクーラーがついていました。

日本の広さを知った、よし！長崎上陸

…博多に着いた時新幹線の終点だという事を実感しました。

全部、また行きたい

…もう一度全員で！と言えない所が貴いんですね。

Q・4 旅行中、これは一生忘れない！という思い出は？

・被爆された方の講演中、防空壕の中の赤ん坊が死んだと言われたとたん、天井のステレオが落ちて来た。

・三日目の夜に火の玉を見た。

…夜、怪談で盛り上がったという人も居ましたが…

・判別自主行動での苦しさ。みんなやる気ナシで朝早くから起きて行っただけだった。でも僕の班はその苦しさが実って大成功を収めた。

…更に旅行委員や室長が重なり苦しさが増えなってしまう。

皆さん御苦労様でした。

・長崎で道に迷ってみんなを50分待たせてしまった。

…坂道が多いから苦しんだんじゃないでしょうか…。

・久住山頂から眺めたあのすばらしい景色と雲がほとんどない真青な空と登りのしんどさ。

…長崎の坂と比べりゃ…当然しんどいか、

・さんぶらわあでAM3:00に瀬戸大橋を見るのに友人を起こし、AM6:00に朝日を拜んだ。

…瀬戸大橋はみんな顔を船窓にくっつけて見ていました。

…バスガイドさんと運転手さんと出港のときフェリーから紙テープを投

げてクラスの人みんなで別れたこと。

…僕は違う組のガイドさんにテープを持たれてしまった…。

・偶然にも10/24が誕生日だった為、ホテルの人々のご好意でお祝いをしていただいた。又、バスガイドさんや友人も祝ってくれた。

…誕生日が夏休みとか冬休みの人に自慢してあげましょう。

Q・5 旅行中面白かったエピソード等は？

・こんな人とは思わなかった人の意外な一面が見れて驚いたとともに面白かった。

…先生の意外な一面というのも結構ありましたが…。

・バスガイドさんと別れて涙していた生徒がいた。

…ほとんどJR東海のCMのノリですね…。

・新地の中華街の「チャンボン」と「特製チャンボン」との間に差が感じられなかった。

…ドンゾリに差があったような…。

・中華街でテーブルの回転するのを回していたら水が入っているポットをひっくり返しまわりの人達に白い目で見られた。

…座シキの所じゃないでしょうか…。

・長崎の判別自主行動のとき途中で講演された被爆された人に出会って案内していただいた。

・友人が湯のみに日付けを入れようとしてまちがって、またその後の反応が面白かった。

・担任の先生のカラオケが案外上手だった。裏でかなり歌い込んでいるのでは…。

…実は宮野先生と岡（省）先生の事なのだ。

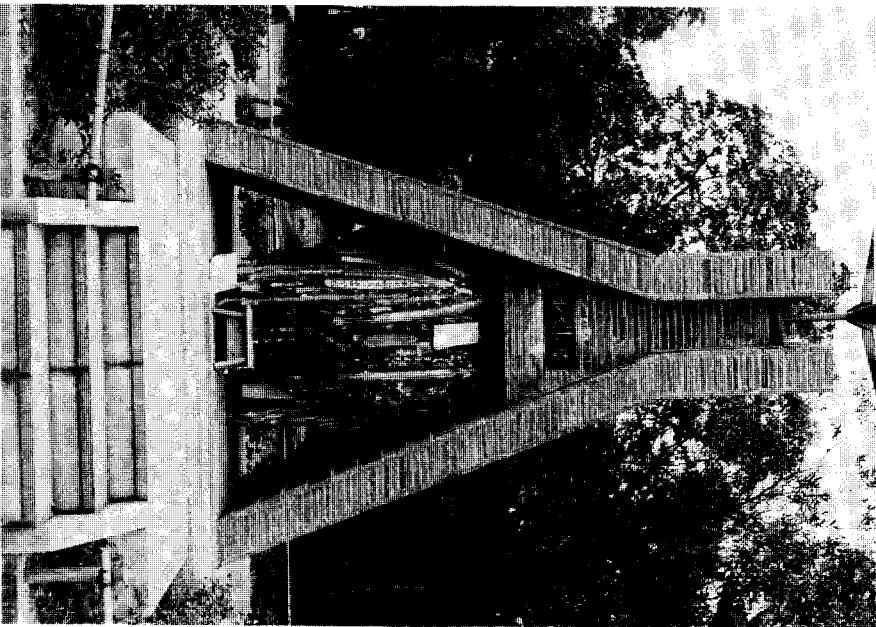
・バスガイドさんが歌ってくれた歌。そしてその歌を出港する時にもみんなで歌って別れた。

…用紙の裏にその歌詞を全部書いてくれましたが、載せられなくて申し訳ありませんが、やっぱり6番の歌詞が一番面白かった。

・旅行中というよりも旅行後といった方がいいでしょうが、旅行から帰って来た時の親の第一声が「あんたやせや！」つまり食べすぎたのです。

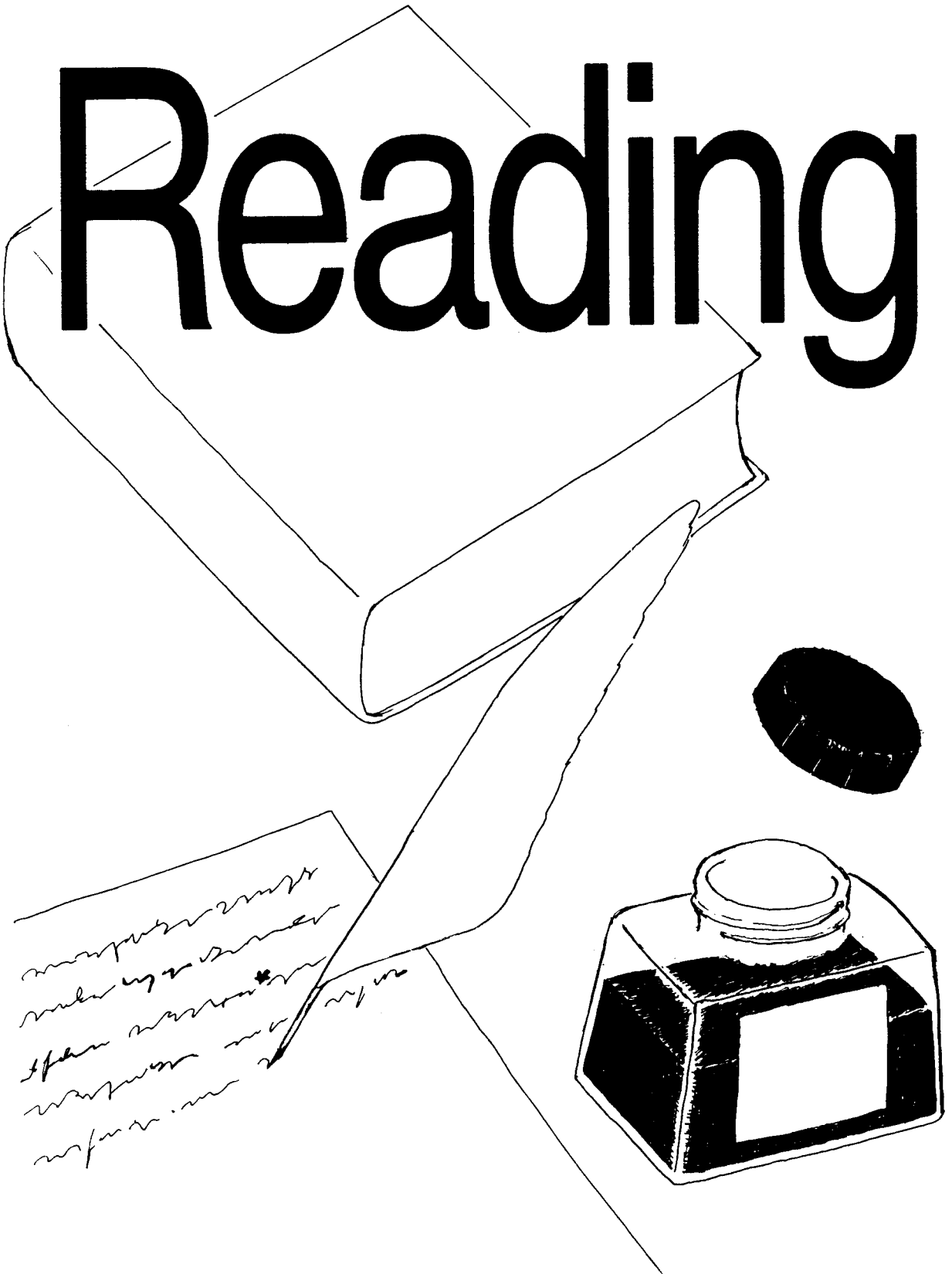


このように、高校の修学旅行は、中学とは一味違っていて面白く、旅行中ずっと充実していた。僕なんかは、帰って来ても自分の家がホテルの部屋のような気がしたり、寝ていてもまだフエリーやバスに揺られているような気さえてた。ふと、もっと長く居たかったなあ、と思うと共にとうとう終わってしまったんだなあという気持ちが入込み上げて来たけど、それだけに後に残った充実感と満足感はこちら数年味わったことのないものであった。きっとあの5日間のすみずみは一生忘れられないものとなるだろうし、その思い出と友情はきっと僕達の人生に何らかの変化を与えたのではないだろうか。



平和の塔

Reading



くいはく…

ある童話

国語科 山口先生

(昭和四十年五月十七日 高見順の病床日記より)

◎童話の清書をここにおきましよう。前から、したいとおもっていたのですが、できませんでした。日記を書くのが精一杯でした。

三びきの かたつむり

はたらきものの かたつむりと なまけものの かたつむりがあるとき ものしりのかたつむりのところへ いきました。

①「なまけているほうが らくだ」

①「はたらくほうが いきがいがある」

どっちが たいしいかと ものしりの かたつむりに ききました。

そこへ さざえが ごろんと うえから おちて きました。りょうしの ざるから こぼれて おちたのです。

「どうした。さざえくん」

と ものしりかたつむりが いいました。さざえは「おねがいだから うみへ かえしてくれ」といいました。

②「いいとも。かたつむりの せんぞも おおむかしうみにいたのだ。さざえくんとは きょうだいだ」

たすけてあげようと ものしりかたつむりは いいました。

はたらきものの かたつむりが かんがえて みつつかたまったかたつむりの せなかに さざえをのせて

「えっさ えっさ」

とはこびました。

なまけものの かたつむりは

「おもいな」

と ぶつぶつ ふへいを いいました。

やっとうみに ちかづいたとき かたつむりのあしにすなはまの すながついて あるけなく なりました。

「こまった」

「どうしよう」

ものしりの かたつむりが

「いい かんがえが ある」

と いいました。

ほそく ながい たけのえだを さがしてきて そのさきを さざえにあて かたつむりたちは はんたいのほうから えだをおしました。

「よいしょ よいしょ」

③ふだん あまり ろうどうをしない ものしりかたつむりは ぐたくたに つかれて

「もう だめだ」

はたらきものの かたつむりが

「もう ひといき」

とはげました。

「ほくも もう いやだ」

となまけものの かたつむりが いいました。

④「もうすこしだ。がんばった」

とはたらきものの かたつむりが いいました。

えんてんに さらされて いきたえだえのさざえは やつと う

みに ちかづきました。

なみがきて さざえを うみへ はこびました。

「ありがとう。かたつむりさん」

と さざえは いいましたが これで たすかったとおもうと⑤

きがゆるんで かわいそうなことに そこで しんでしまいました。

(これからあとが二種ある)

かたつむりたちは それを しりません。

「よかった よかった」

と よろこびましたが じぶんたちも つかれて うごけなくな

りました。ひに てらされて そのばに そのまま しんでしまい

ました。

でも⑥みんな くちぐちに

「さざえさんを たすけてあげて よかった」

と いいながら しんで いきました。

(子供向けの——なにも人に読ませるために書いた童話ではない
のだから、これでいいのだが)

かたつむりたちは それを しりませんでした。

かたつむりたちも ひにてらされて いまにも しにそうでした。
そのとき⑦なまけもののかたつむりが

「あすこの くさの あるところまで いこう。あすこまで い

けば だいじょうぶ。あのくさを たべて げんきをだしましよ

う」

ほかのかたつむりに いいました。

「さざえさんを いっしょうけんめい たすけてあげられて よ

かったですね。いのちを たすけるといふことは きもちの いい

ものですね。ほくも これからは いっしょうけんめいにはたら

こう。はたらくほうが きもちがいい」

ほかのひきは そのばに へたばって いましたが なまけも

のの かたつむりに はげまされて くさのあるところまで いき

ました。あぶなく しぬところを⑧おかげで たすかりました。

☆——☆

①の方が正しいとやってきたが、①の方も最近市民権を得て来た。
年来ひそかに思っていた事を口に出しても響をかう度合いが減っ

た、のかどうか。

②この兄弟意識の限度はどこまでか。生き物みな兄弟までワープし

てかまわないのか。

③身につまされて何も言えない、と思いがあっていいのか。

④働き者を「ケチ」と決めつけると叱られるだろうか。動機、結果
の詮索はさておいて、やりかけたことを途中で止めるのは今までの
労力が無駄になるから損だ、という意味の「ケチ」だが。もう一つ
道具の使用に疎い、肉体を動かすだけの、局所だけにしか知能が発
動しない善人(?)を聖人だと称したら、だまって手を握られるだ

ろうか（だれに？）。

⑤助けられた者は、助けた者の善意を意義あらしめる為に、助けられる以前よりも生きる努力をせよ、と声をはりあげると石を投げられるだろうか。大勢の人々から、無償の行為（結果としてだが）の美しさが判らないのかと。それとも、一部の人から、高見順のサタイアが理解出来ない阿呆、と嘲笑されるだけだろうか。

⑥⑦⑧——省略。そんなことより、子供向けの結びを先に書かなかった方が問題だ。ルーチンの後に、キラリとドスを抜くのが高見順らしいと思うが、けれど、不治の病に冒されていたせいか。

☆——☆

◎以上、朝七時前に清書。○妻が、ひげをそってくれる。きれいになった頬に、そよ風がさわやか。心もさわやか。……

☆——☆

さざえの不運——三人組が別の組み合わせだったら。

さざえの本体——「神」。

（平成元年一・八）

岡山の頃

数学科 舘田先生

昔テレビのコマーシャルでこんなのがありました。若者に人気の高い作家と映画監督が2人で酒をくみかわしながら

「人生何が楽しいかって、人と出会ってこうして喋っている程、楽しいことはない」といった意味のことを話しているものです。もう二十年も前のことになるのですが、そのコマーシャルの薄暗い画面は今でも僕の頭の中にぼんやりと像を結んでいます。

当時まだ中学生だった僕は「将来数学者になって大定理を作ってやろう！」などと本気で考えていたものですから、そんな大人達のお喋りを「なんと情けない人たちだ。人生の一番の楽しみが……」と半ば軽蔑すらして見ていたのです。

きっと中学生らしい純粹さでも云ったものが、日常の中に埋没しそこで人生の楽しみを見出そうとしている大人達に強く反発し、そんな気持ちに僕を抱かせたのでしょう。

それから二十年、もちろんその時の大志？はとうとう実現できないままに終わっているのですが、当時の作家達の年代に近づきつつある今、彼らの言葉の意味が少しずつ実感されてくるようになってきました。それはしだいに先が見えてきて現実と妥協してきたという見方もできると思うのですが、自分としてはそれだけではないもっと積極的なものがあるという確信めいたものを持っています。

今までを振り返って色々な人々との出逢いがどれだけ僕の人生を豊かにしてくれたことでしょう。最近よく考えるのですが、生徒の皆さんより僕が少しでも優っているのはそんな経験をたくさん持つ

ていることではないかと云うことです。

前置きが長くなりましたが、そんな人々との出逢いの中から、愉快な仲間達との楽しい思い出の一つを書いてみたいと思います。

あれは大阪を離れて岡山での下宿生活を始めて二年目の夏の終わりだったと思います。大阪市大の大学院生で、大学時代の友人M君、こちらの大学から市大へ行ったN君、東京から市大へやってきたFさん達が岡山に遊びに来ました。(N君は家がこちらなので単に帰省でしかなかったのですが)

僕はこちらの大学を出た同級生のH君(彼はN君とはとても仲がよい)と一緒におきまりの観光コース、つまり後楽園からあの二〇〇〇坪ばかり映画のセットのような白壁の続く倉敷を案内してまわりました。一とおり見てまわり岡山の街に戻って、さてこれからどうしようということになりました。しばらく皆考え込み無言で歩いていたので、M君が突然思いついたように

「そうや。Nの家に行って謝恩麻雀大会をやろう!」と言います。M君は岸和田出身、そのせいかととも祭り好きで、なにかあるとすぐ謝恩という接頭語をつけていろいろな催しを提案します。いったい何に対して謝恩なのかよくわからないままみんなもその提案に賛成し、我々の間では「バケモノ」と呼ばれていたN君の家に行くことになりました。ここでもちよつと説明しておく、僕達数学科の学生の間では「バケモノ」とか「宇宙人」という呼び名は最大級の尊称なのです。つまり並の人間では及びもつかないような能力を持った人に対する羨望もこめた呼び方である訳です。N君は僕達か

「あの本(数学の)なかなか難しいね。」などと話している

「おまえら本を読もうとするから難しいんよ。つまり人の証明を

追っかけるからしんどいんよ。あんなもん定理だけ見て自分で順番に証明すりゃすぐ解るんよ。」といった調子で、実際我々が結果だけうろ覚えしているような定理もその場でさつと証明してくれるという実力の持主でした。さらに(本当に恐いことに)彼は語学の達人で英語、仏語、スペイン語はペラペラ、独語、イタリア語、ギリシア語も読み書きならできるといって正にバケモノだったのです。実は僕は麻雀を全然知らなかったのでこの謝恩?!麻雀大会にあまり気乗りはしなかったのですが、N君の育った処を一度見てみたいという好奇心もあり皆についていくことにしました。

岡山の街で適当に夕食を済ませると僕達は赤穂線に乗る為に岡山駅に向かいました。途中N君が

「あーそうじゃ。夜道を歩くけん灯がいるなー。」

といいます。一体どんな所へ連れていかれるんだろうという不安が胸をかすめます。でもそんなことはまるで気にせずはいでいる人、例によって祭り好きのM君が

「よし、ちようちんを買おう。夜道にちようちはええぞ。」

といい、けっきょくちようちんを捜して一つ買い、5人意気揚々と電車に乗り込んだのでした。目指す駅に着いたのは八時を少し回っていたように思います。八時と言っても大阪近郊の駅と違い、乗ってきた電車が行ってしまおうと人はほとんどいなくなり、そこそシーンという音が聞こえるくらい静まり返っていました。これからどれ位と誰かが聞くと

「まあ歩いて一時間半位じゃな」とN君。

「バスかタクシーは？」と尋ねるM君にN君はさもすまなさそう

に

「そんなもんねえよ。」と答えます。駅前の様子を見ればそんなことは聞かなくても明らかでした。

要するに僕達はこれから一時間半、おもちゃの様なちようちん一つを頼りに、真っ暗な道を歩いてN君の家へ行かなければいけないわけです。電車はこの時刻になると二時間に一本というローカル線です。から岡山に戻るわけにもいかず、仕方なく僕達はN君を先頭にとぼとぼと歩き出しました。皆さんは真っ暗闇の中を歩いたことがありますか。大阪に住んでいると二十四時間を通してどこかには灯があるもので決して闇になることはないですね。でもそこは駅前を少し過ぎると人家もきれ、もうほとんど光源がないのです。自分の家とはいえちようちん一つでよくこんな長い道程を間違えずにいけるもんだと変に感心しながら歩いていると、小さな灯では十分足元を照らせないせいでしよう、時々横を流れる小さな溝に足を取られそうになります。みっともない話ですが僕は何時もこんな時「やっぱりくるんじゃなかった。」とぐずぐず考えてしまいます。といて今更引き返す訳にもいかず、必死の思いでN君の後を付いていきました。けっきょくN君の家に辿り着いたのはもう十時を過ぎていたように思います。

家に着くと僕達はN君の御両親への挨拶もそこそこに二階に上がり、早速その謝恩麻雀とやらを始めました。

麻雀というゲームをしたのは、小さい頃母の従兄弟に強制的にやらされたのとの時の後にも先にも二回だけ、とにかくルールを聞きながらやっとなっているという有様でした。

夜も更けてきますと、お喋りが段々少なくなってきた、何時も同じ手ばかり狙う僕にM君がイヤミを言ったりします。またM君は覚

えたてで必死の思いでやっている僕に

「おまえ。麻雀なんてあんまり、真剣な顔をしてやるな。」などと罵声を浴びせます。彼にすれば、沈みがちなその場の雰囲気僕をさかなにしてなんとか盛り上げようとしたのでしょう。きつと完全に覚えてやれば随分楽しいゲームなのでしょうが、その時の僕にとって麻雀は「数学」よりよほど知的能力と忍耐を要求するものでした。

そんなこんなで四時頃まで黙々と麻雀は続けられました。四時過ぎに誰かが

「ちよつとトイレを借りたいねんけどな。」

と言います。他の者も思い出したように俺も、俺もということになりました。

N君は誠にすまなさそうな顔をして（これが全く曲者です）

「あのー、悪いんじゃないけどな。下の便所に行くには親の寝とる所を通らにゃならんのじゃ今寝とるけー、おこすといけんからあのー、まー、ここでしてくれんか。」

と窓の方を指差します。大阪ですといわゆる総二階の家が多いのですが、ここは岡山の山の中。広い一階に、二階がちょこんと載っているといったかんじの家なので窓の外には一階の屋根が続いているのです。N君はその屋根の上でしろと言う訳です。

「あのな。落ちんようにできるだけ端に行つてやつてくれんか。」

N君のそんな言葉に他の三人は結構面白がり、気持ち良さそうに闇に向かって用を済ませています。それで僕はというと、きつとこの日はよほどついていなかったのでしょう。高所恐怖症であまけに

下は真つ暗となると足がすくんでしまい、そのうえ傾斜を滑るまいとしてつい足の指に力が入り、どうしても中途半端にしか出ません。かなり時間をかけても十分出し尽くせず、心残りのままにやり終えざるをえませんでした。その時の尿意と一緒にになった恐怖と後悔の気持ち、今でも忘れることができません。

一通り用を済ませると、皆急に一日の疲れがでたのか「寝よう」ということになり、広い座敷に枕を並べて横になると、直ぐに眠り込んだのでした。

翌朝といっても昼近くにねむたい目をこすりながら一階に下りていくと、ぶーんと良い臭いがします。遠くからの客ということでお母さんが氣を使ってくれたのか、なんと朝！からスキヤキが用意されているではありませんか。皆一様に「ほー」という歓声を上げます。おいしそうな臭いに眠氣もすっかり醒め、みんな物凄い勢いで食べました。

その肉の量の多いこと、それから特筆すべきは椎茸の大きいこと！スキヤキといってもほとんど肉と椎茸の煮込みといった感じですよ。

一息ついた誰かが

「この椎茸ごっついなあ。ここらでとれるんか。」

と尋ねると、N君のお母さんが

「そうじゃ。うちで作っとるんよ。ほれそこで。今朝取ったばかりですよ。」

と窓の外を指差しました。誰かが「あつ」と小さな声を上げます。みんなも僕も思わず顔を見合わせました。その方向、二階から下りてきた方向、二階の窓を考えると……。

N君はニヤニヤ笑っています。

「まー、洗ってあるんだから！」

と例によってM君がカラ元気をだして、大きな肉の厚い椎茸をパクリ。怪訝な顔のお母さんに何事もなかったように装い、一同再び美味しそうに食べはじめたのでした。

おなか一杯食べ終えると、僕達は御両親に今度は丁寧に挨拶をしてN君の家を後にしました。昨日と違って明るい日の下では、緑に囲まれた山と山の間にポツリポツリと家が見えます。そんな風景を見ながらFさんが「やっぱりこんな所やないとNみたいのは育たんのやなあ」としみじみ言いました。一同その言葉に大いに納得し互いに頷きあったのでした。一時間ばかり木々に囲まれた道を歩いていくと、江戸時代備前藩主池田光政によって創設され、我国最古の庶民学校として有名な閑谷学校があります。それは山と山にかこまれた本場に静かな、美しい場所にありました。随分奇妙な一日を過ごした僕達でしたが、しばし時を忘れてそこに佇み、何百年も前にこの場所で学問にその若い情熱を燃やしたであろう僕達と同じ年代の若者たちに思いをはせたのでした。

僕にとって家を離れての下宿時代は、勉強の面でこそ大した成果も上げられなかったのですが、今書いたような友達とのいろいろなつき合いを通じてとても稔り多い時期でした。ここで登場したH君とは下宿も近かったせいで、しょっちゅう泊まりに行き一晩中語り明かししたりしました。それから彼の住む下宿（なんと下宿代が月三〇〇〇円！）には哲学科で留年を繰り返すOさんとか、同じ哲学科で高校時代カントの著作はすべて読んだと豪語する（もちろん訳本

ではあると思うが）下級生等変人奇人がたくさんいて、この人たちともいろんな話をすることができました。また、H君とともに僕の岡山時代のたった二人の同級生であった誠実なI君との思い出も語り尽くせぬほどあります。今から思えば、家という枠から飛び出した解放感のようなものがそんな数々の素晴らしい出逢いを可能にしたのかもしれない。岡山での二年間の下宿生活を終えて大阪に帰り高校に就職してからは、それ以前から比べると人との生のぶつかり合いが本当に少なくなってしまうようです。それはきっと、人とのつきあいでもまず教師であり、父であるといった役割の方が前面にでて、人との間に自然と距離をもってしまうからでしょう。でも僕はまだまだ「昔は良かった」などと思いついてひたすらにやりたくないと思っています。もっともっと色々な出逢いをこれからも経験できるよう、そして僕だけでなくこれを読んで下さった皆さんにも素晴らしい出逢いが生れることを願って、このつたない文章をおわせていただきます。

（文中N君、彼のお母さんの岡山弁はできるだけ彼らの喋ったとりに書こうと思ったのですが何分古いことなので不正確であるかもしれません）

フリーストック

社会科 黒田先生

「人間関係について」というテーマで原稿を頼まれた。かるくひきうけたものの、実は常日頃からこんなことをしかも大上段に構えて考えてみたことがない。そこでハタと困ってしまった。

一、黒髪ながく	やはらかき	二、友の嘆きは	わが愁ひ
をんな心を	たれが知る	君悲しめば	われ辛く
心をつなぐ	黒髪の	袂にかばひ	身を寄する
女の友情	知るや君	女の友情	知るや君

これは昭和初期、世の少女たちに「乙女チック浪漫」をふりまく作家、吉屋信子さんがつくった「女の友情の唄」である。なんでも東海林太郎のレコードのB面に松島詩子という人が唄ってぶきこんだらしい。今どきは一見シニカル、実はチャラチャラした文化が横行する御時世。「友情」などというものはや日常会話の死語と化しつつあるものを、美しきものなりと唄いあげるとは「さすが昭和の大時代!!」と私などは頭を垂れてしまいます。様変わりと言ってしまうえばそれまでだが、「大昭和」も遠く行ってしまったのだらうか。

そこで、やおらポナールの「友情論」（教養文庫）などを引っ張り出して読むことにした。（しかし一体どんな人間がこんな本を読むんだらう。フランス・モラリスト研究者を除けば友人関係の危機に直面している人間か、はたまたよほど友情に飢えている人間か、いや私のような不純な動機の間がある人間かとも知れないと思いつつ）

本を見ているとなかに様々な「価値」を表わす言葉がでてくる。

そしてそれらの「価値」は二つの極に向かってひきよせられていく。その一方の極が「真の友情」であり、他方は「低級な友情」である。「真の友情」たるものが存在する限り、「低級な友情」は友情と思われるもの―習慣的な関係や同盟的な関係―にすぎない。この両者はボナールの言葉を使うと―「低級な友情」(習慣・同盟)は「偶然」や「取引き」をきっかけとした「怠惰の結果」や「利益への期待」を性質とするもので、「思い出」や「虚栄心」を求め相互間の「性格の争い」を生み出す。これにふさわしいのは「凡庸な」「単純な」「愚かな」「卑怯な」人間である。これに対し「真の友情」は「決定的に選びとる」ことをきっかけとした「物惜しみせね高遭さ」や「功利を越えた」性質のもので、「真正の優秀さ」と「経験という宝」を求め、相互に「精神の戯れ」を生み出す。「教養ある」「秀でた」人間がこれにふさわしい。―というものだ。よく人間の関係を「絆(きずな)」という言葉で表しをするが、そういうロープのようなものについてもボナールは述べている。「偶然の機会に近づいた仲間」というものは習慣のたるんだ鎖で繋っており、同盟を結んだ人々は細い綱で繋っている。ただ真の友情のみは必然的であると同様にいつも自由である。」と。

ボナールは地上にある世俗的なものを徹底的に軽蔑し排除することによって友情を聖域においた人である。その意味ではこの友情観は、「友情のもつこのような貴族的性質故に、鈍い人間や粗野な人間は決して友情の存在する高みにまで達することはないであろう。」と白状しているように、貴族的かつ「選ばれた人間」の観念に由来するものである。

うむ。「友情」とはそういうものかと思いつつもいささかの不満もつのである。というのはこの理屈では私の如き貴族的観念をもちえない人間はウソっぱちの友情を感じてイイ気になってる哀れなヤツということになるし、「教養のある卑怯者」は一体どうなるんだ―とスネてしまうからだ。こう考えていくと、人間関係から生まれる「友情」というものは、個人レベルの問題であってそれを強引に類型化し客体化することには、やはり無理があると言わざるをえない。―まあ、どっちにしても僕はボナールくんとはいい友だちにはなれそうもない。

近頃は、年齢とともに人づきあいも雑多になった。いつの間にか自分の回りに幾種類かの人の輪ができていくのに気づく。例えば、家族、かつての家族、友人、職場の人々、生徒と自分：などである。その一つにK、Tとの輪がある。彼らは大学時代の友人で今はサラリーマン、たまたま同じクラスになったのが同じ下宿屋に、もちろん部屋は別だが、間借りすることになった間柄である。(私の部屋はコタツとステレオがあって比較的こぎれいであつたために、彼らは勝手にあがりこんで寛いでいることが多かった。冷蔵庫と炊飯器はTがもっていて、アルバイトや試験の情報はKがよくみつめてきた。そこにSがミニサイクルに乗ってやってくるためたく麻雀のメンバーが揃う。)下宿というものはどこからか人が集まってくる、まあオアシスのようなもので、ときに一杯飲屋や雀荘にかわる。しかし今思うと、よく飽きもせず酒飲んで話をしたもんだと感心してしまう。

Tと二人で「ワルいこと」した経験がある。カッコ悪いけどもう

時効だろう。とある日、旧国鉄天王寺駅で第3者Mからもらった定期券（二日分残っていた）を改札ごしにヒョイとTに渡し仲良く改札を出たところ御用—となった事件である。今からするとこれは立派？な犯罪であるが、なんせ遊びごころ旺盛な年頃、そのときは全く罪の意識はなかった。駅構内の鉄道公安室でキッシーおしかりを受けることになったがそのとき、①私は既に定期と学生証の入ったケースを取り上げられていた②第3者の定期を二人で不正使用した（前にも後にもこれっきりだが）③定期にはMの名前が書いてあるしかも六ヶ月定期だ④公安官は恐そうである—という事実から何かドエライことになりそうな予感がした。Mを渦中に巻きこむことなくこの急場をしのぐには—しかし、「TはMであって僕はMに定期を借りただけだ」という最善のシナリオが不思議と暗黙のうちにできてしまった。以下、取調べ室の模様を再現してみる。

公（公安官）：（私に）「この定期は君のものか。」

私：（Tを指し）「彼のです。」（T氏はさぞびっくりしただろう。

でも全く平然としていたのはエライ）

公：（Tに対し）「お前、名前は。」

T：「M」

公：（定期の名前を見ながら）「下は。」

T：「カズオ。」

公：「どんな字や。」

T：「ヘイワの和にオット。」

公：「住所は。」

T：「堺市…云々……。」（いいかげんなこと言ってるやがる。）

公：「証明するもんは。学生証だせ。」

T：「今日はもってません。」

公：「ウソつくな—!!」（怒ってるな）

公：「ポケットのもん全部出してみい。」（これはヤバイと私は思った。）

そこでTはきつそうなズボンのポケットから苦しそうにティッシュ、小銭（ジャラジャラ）、くし—と一つづつ机の上に出していったが学生証はその日はもっていなかった。結局、苦勞の甲斐あって予定通りTの定期を不正使用したということで小一時間おしかりを受けて（尤も後半は笑いまじりの世間話であったが）最後に私が始末書にサインしてめでたく放免となったのでありました。

そのあとTと話すと、実は同じポケットに学生証が入っていて、苦しそうに出していたのはズボンがきついのではなくて、学生証がポケットから出ないようにティッシュを引っ張り出していたかららしい。全く不自然さはなかったが、「あれは難しかった」そうだ。

このあまりバカ馬鹿しい出来事だが、僕は偉大なるT氏に対してある種の「信頼」をもった。というのは彼は彼は期待を決して裏切らなかったし、自分と完璧なチームプレーのできる人物であったからだ。しかしこんな辛い経験は二度としたくないが、この日は何かとてもいいことをしたような気がした。

現代音楽の一つに反復音楽というものがあって、短い一つのフレーズを延々何十分も繰返す。一寸聴くと非常に退屈でつまらないもんだ。作曲家テリイライリー氏によれば、「演奏者は同一の旋律を位相を変えながら繰返す。聴衆はそれをうけとめ自己の内面にそ

こから生まれるイメージを限りなく広げていく。プレイヤーとオーディエンスが一体化した共同創作によって成立する音楽”らしい。

とすると友人に限らず「人間関係」というのはこういうものではないかな、と思う。つまり、日常の反復や他愛ないことから見えない「ロープ」のような繋りができて、そこから「共同創作」が始まるという具合に。そしてその「ロープ」はボナールのいうように「必然的かつ自由」であることは大切である。その「ロープ」を繋ぐためにはどういう努力をすべきか―ありきたりだがやはり自分の心を開放すること（年齢とともにこういうチャンスは減ってきたが）、相手とのコミュニケーションを深めることだろう。そのためには―それは自分で考えることだと思う。

今もTやKと年に一、二回顔を合わすだろうか。別にいつも会いたいと思わないが、会う度に進歩しない連中だと思う。向こうもそう思ってるだろう。近々K氏は結婚するらしい。以前に酔った勢いで我々だけにフィアンセを紹介してやるとイキまっていた。（これは例のロープの仕事か）そういうえば僕の結婚式で先頭きって野次りたおしたのはこの男だった。今、僕はKの結婚式をこころ待ちにしている。難壇に座ったヒーローKをいかに笑いのものにしてやるか考えただけで楽しくなってくる。いや、これは決して仕返しなどではない。もちろん「友情」である。

PS：他愛ない話になってしまった。KやTをネタにするならもっと悪口を書きたててやろうと思った。でも、悪口というものは陰にまわってコソコソとするのが礼儀である。この「礼儀」を守るのも「友情」だと思っている。

少年色のメルヘン・六訂稿

3年12組 和田 曜章

日本映画の衰退が叫ばれて久しい。ことに「特撮映画」のジャンルにおいては、次々と送り込まれて来る欧米やアジア系作品と比較して、その度合は著しい。かつて円谷英二らにより「特撮先進国」化した日本が、今、どうしてこんな惨状を呈しているのだろうか。

先日公開された「孔雀王」なる映画に、その謎を解くカギとも言うべきものが象徴的に現れていた。主演しているユン・ピョウは、もう一人の主演・三上博史よりも非常によく動いていた。これはもちろんユン・ピョウがアクションスターであり、三上博史の役柄のせいでもあるのだが、日本映画界と香港のそれとの「パワー」の差が現れていたと思える。日本映画、日本特撮の衰退にはこのパワーが関係しているようだ。

では何故日本特撮はパワーを失ったのか。この解明には複雑な日本人の思考へのアプローチを必要とする。あえて言うならば、特撮学における日本人のいくつかの考察を為さねばならない。

最近SFXと呼称される特撮だが、実はこの英訳は適切ではない。SFXとはsound effects、音響効果を表す。Special effects、略してSPFXという呼称が直訳すると特殊効果となり、最も特撮に近い言葉であるから正解となる。マスコミその他は、知った上でこの呼称を使っているのだろうか。そのマスコミその他日く、日本特撮は技術が良くない、発想が貧困だ、もっとひどくなるとバカバカしい、と惨々言い様である。これに対して反論したい。技術レベル

はアメリカと比較してもさほど大差はない。国々の機器に関する知識は持ち合わせていないが、目立った格差はないと言って差し障えないだろう。

そもそも特撮技術の優劣はリアリティのみによって判定されるものではない。円谷英二が世界的な特撮の神様とまで言われたのは、本物そっくりの特撮シーンを作り上げたからではない。評論家中島紳介氏の言葉を借りれば、円谷はミニチュアやぬいぐるみを使い、それこそ吊りのピアノ線が見える事等、へとも思わね自信で、壮大な「小宇宙」を完成させたからである。ただ円谷があまりにも偉大すぎたのであろうか、円谷の没後何年経ってもこの手法から脱しきれなかったのである。近年「帝都物語」等でようやく脱出の兆しが見えてはいるが、まだまだこういういった感はずいぶん。技術はあるが、使いこなせていないと言うのが現状であろう。要は演出の問題である。次に発想の面だが、これもまた、アメリカに負けてはいない。「ロボコップ」が製作される十年以上に、既に日本で「ロボット刑事」なるテレビシリーズが製作されている事は、これを端的に示す具体例の一つと言えるであろう。問題は「バカバカしい」と思う人達にある。

日本の特撮なんてバカバカしいと言いながら、同種あるいはそれ以下の内容のアメリカ映画を喜んで見ているような人は、まだまだ可愛い部類に入る。グローバルな視野とエンターティメント性に富んだアメリカ映画は確かに面白いものが多い。アメリカにコンプレックスがある訳でもないだろうが、盲目的に日本を卑下してしまう事はそう悪質なものではないと思える。無論良い事ではないのだが。

ところがつまんと手のつけられないような人達もいて、いささか閉口する。良く言えば真面目な、はっきり言ってしまえば頭の固い日本人の典型的タイプの人達——この稿では現実主義者と便宜上呼称する——がそれである。

この現実主義者という呼称は様々な意味を含んでいる。フィクションを評価しない人々、金儲け主義の人々、そして夢を見れない人々等々。

そもそもリアリズムとフィクションとは別種のものであり、リアリズムの評価基準をフィクションに持ち込んでバカバカしいと片付けてしまいう事に間違いがある。そんな評価をされたら、虚構を追求するフィクション等無価値なものになってしまう。リアリズムにせよフィクションにせよ創造性の評価はアメリカの方が高く、日本では「バカバカしい面白さ」は評価されない。

脚本家の佐々木守氏の意見によれば、近代日本の教育は「神聖にして侵すべからざる神」のいる「宗教教育」だったそうである。その「神」は明治維新直後が「西欧文明」であり、そして「天皇」に変わり、戦後は「科学」へと変わった。科学的真理のみが正義であるという考え方もここから生まれたそうである。

佐々木氏はまた、「日本人は今にみんなカネゴンになっちゃう」とも述べていた。猫もシャクシも財テクの時代。金、金、金の御時世だが特撮とて例外ではない。テレビ特撮シリーズは商品化権を売り、製作費を補填する。あまりにも低予算だからである。それを受けておもちゃ会社は商品を販売し莫大な利益を得る。作品あってのおもちゃなのだ。最近では本末転倒しており、番組がおもちゃ会社の意向を反映し、ほとんどCM化してしまっている。紙数の関係上具

体例を挙げられないので実感できないだろうが、試みに一度御覧頂きたい。いかにおもちゃの要素が入り組んでいるか、わかるはずである。

このような制約の下、スタッフは何とか良い作品を作ろうと必死なのだが、実はもう一つやっかいな問題がある。それはターゲットの問題である。

視聴者層は多様化、一家庭あたりのテレビ保有台数の増加は他の番組にも言える要素であるが、特撮番組には「子供」というやっかいなメインターゲットの問題がある。

昔は仮面ライダーの真似をして、子供がケガをしたといった事件が続発し社会問題となったが、最近はそういう事もないそうである。子供が大人びていると言えよう。

子供の感性が大人のそれに近づき、早熟した原因は高度情報化時代にあるのではないだろうか。

昔、少年は夢と希望に満ちた純粹な存在であった。現在そんな姿を求めようとする大人は子供達の失笑を買うにすぎない。現在の子供が感動しないのも高度情報化時代にあるようである。

かつての子供達は友情なり何なり「真なる物」を、その心を揺らして得、成長した。現在の子供達はありとあらゆる媒体から「真なる物」を心を揺らすことなく知ることができる。だがそれは知識であり、経験で得たものではないから彼らの心中での価値として、そう大切なものとはわからないはずだ。人の名前は知っていても、人となりまではわからないのと同じである。現代社会においても心を揺らして得る必要のある「真なる物」はもちろんあるが、子供達は既にその知識を持っている。わざわざ心を揺らして得ようとはしな

い。だから感動に冷めているはずだし、知識的に大人と同等のものを持っているはずである。

製作者側も年齢層を上げてよいものか否かよくわかっていないようであるが、旧態依然の子供番組がヒットしていないのは事実である。そんな中この問題を逆手に取り、視聴率的にも成功した番組がある。

「おもいっきり探偵団覇悪怒組」「じゃあまん探偵団魔隣組」の二作品である。男四人女一人の少年達が怪盗―前者は魔天郎、後者はジゴマに挑むという物語である。こう書くとき旧来の作品と変わらないうえだが、魔天郎らの真の目的は盗みではなく子供達に「真なる物」を見極めさせる目を持たせる所にある点が特筆に値する。探偵団のメンバーは一応正義の味方であり、「真なる物」を知っている。ところがこれは非常に怪しく、魔天郎らは彼らを不思議な事件に巻き込み、何故友情が大切なのか等を改めて問い、気づかせ、教えるのである。こう書くとき硬い印象を受けるかも知れないが、かなりシュールな作品である。寓話、ファンタジー、ラブストーリー、訳のわからない話等様々なスタイルのドラマが練り広げられた。魔天郎らも何の価値観も持たず社会を漂流する大人達よりも魅力的な、むしろヒーローですらあった。具体例を挙げればよくわかってもらえるだろうが、紙数の関係上出来ないのが非常に残念である。

ともかくこれらの作品は現代性を得、新しいジュブナイルを創造し、子供達の支持を受けた。会川昇氏の言葉を借りれば「夢を再生する神話」であった。

まだ子供達は夢を見れる。しかし既に心が化石になってしまった人達は多い。これからもっと増えるだろう。とかく日本は目に見

える物しか評価しない国である。金や地位やあるいは試験。それらも一つの評価ではあるが、目に見えない評価を軽視してしまうのはゆゆしき事である。愛や友情、あるいは正義。国政を遂行する政治家が不祥事を起こすのも、金のみ評価し、正義を軽視するからではないか。

魔天郎ならぬ私には夢が死にゆく事になすべはない。既成概念を破壊してくれる魔天郎やジゴマを待望するのみである。しかしこゝうは言えるであらう。

あなたは非常に常識的な人です。現実しか評価しません。フィクションである特撮等、あるいは夢と言った見えない物を信じません。だからあなたはあなたの命や心も信じませんね。あなたは死んだように生きているんですね。

失われた夢に関する作品に「魔法のプリンセス ミンキーモモ」がある。素晴らしい夢のドラマを見せてくれたこの作品が、一般において不当な評価をされる事は象徴的である。

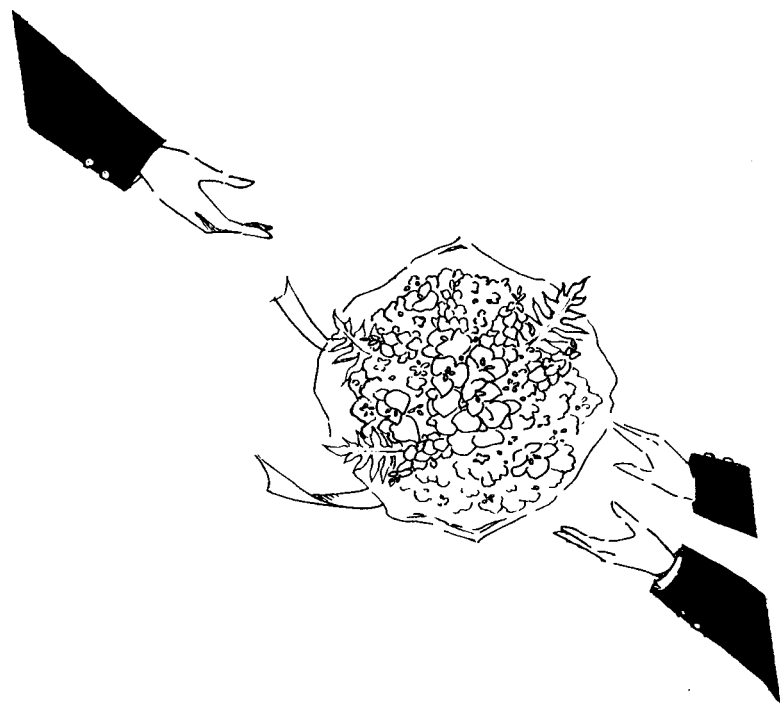
フィクション衰退の中、特撮の行く手は茨の道である。私案だが、映画においては「スターウォーズ」のようなパワーで押し切る作品か小粋な小品が良いであらう。前者は「帝都物語」で後者は自主映画で試みられている。テレビではアニメの段階的レベルアップ法、すなわち年齢集団の成長に合わせて作品も質を上げて行く、ガンダム以来の方法を学ぶべきだろう。それに最適なスタイルは「トワイラントゾーン」や「少年ドラマシリーズ」ではないかと思われる。

特撮のみで展開せず、夢を持ち出したのはいささか大袈裟であったかも知れない。どうやら私自身、「真なる物」を得ていないようである。この稿はそれを得んが為の模索、心に夢の国フェナリナーザ

を呼び戻すための試行であったのかも知れない。

ならばそれが可能になった時、模索や試行は楽しい冒険になるであらう。

そして手に入れた宝は、少年色のメルヘンに違いない。



愛すべき小心者よ

二年 甘党で何が悪い

霊長類ヒト科、これが我々人間です。人間は感情の動物です。つまり心を持っています。そしてさまざまな心を持つことによって個人の性格が形成されていくのです。そこで皆さん、第三者になったつもりで自分自身を見つめてみて下さい。皆さんは一体どんな性格の持ち主でしょうか。優しい、冷たい、賑やか、穏やか等、十人十色だと思えますが、ほとんどの人に共通する特徴があると思います。それは気が小さく非常に他人の目を気にする、いわゆる小心者であるということです。「俺は人目など気にしないぞ。」「私はいつも強気よ。」と文句の一つでも言われる方もおられるかと思いますが、とりあえず次に挙げるいくつかの小心者の具体例を読んでみて下さい。

☆教室で

授業中居眠りをしていてハッと目を覚ます。そしてつい周りをキョロキョロと見てしまう。

☆電車の中で

座席に座っているとふと目の前に座っている人と目が合ってしまった、どこを見ていいかわからなくなり最後にはうつむいてしまう。

☆自転車に乗っていて

前方から他人の自転車がやって来て相手がよけたのに自分も同じ方向によけ、向こうが再びよけたにもかかわらずこちらまま

た同じ方向によけてしまい、とうとうぶつかりそうになりお互いに止まってしまふ。

☆ファーストフードの店(例えばマクドナルド)で

カウンターで「ハンバーガーとコーラS」と注文すると、店員のかわいいおねえさんに「御一緒にポテトはいかがですか。」と言われて食べたくもないポテトまで注文してしまったり、「今ですとこちらのセットがお得になっておりますが。」と言われて「それじゃそのセット。」とこれまた、たいして安くもなっていないセットを頼んでしまう。

☆街で

街を歩いていると先の方で何かを配っている。欲しいのなら始めから貰いに行けばいいものを、さりげなくそれもわざとゆっくり歩いて手渡してくれるのを待って貰う。(それが食べ物だと何度も往復して貰うという厚かましい人もたまにいます)

☆公衆電話で

電話をしていて隣にも電話をしている人がいると、何故か隣に背を向けその上受話器の話し口を手で覆い隠してしまふ。

☆喫茶店で

友達とゆっくり話をしているとウェイトレスが空になった食器を下げてしまふ。すると何となく居辛くなってその後すぐに店を出てしまふ。

☆本屋さんで

雑誌でも読もうと本屋に行くところ中学時代の友達とばったり出会い、「久しぶり何か買いに来たんか」と聞かれ、思わず「うん、ちょっと参考書を。」と見栄をはって参考書の棚の所へ行ってしまう。

しまう。

いかがでしょうか。皆さんも二、三は頷いてしまふことがあったのではないでしょうか。中には一つもないという方もおられることでしょう。そういう方は是非政治家にでもなって下さい。きつと出世しますよ。しかし「小心忘るべからず。」ということわざもある？ ことですし、人は小心者であった方が人間味があって世の中が楽しいと思います。こう思うのは自他共に認める小心者の僕だけでしょうか。

武道のスポーツ化「私と空手」

一年五組 スーパー慈恩

空手という言葉を目にして最初に頭に浮かぶ事、それは卓越した恐るべきスピードと破壊力でしょう。瓦を何枚割るとか、北斗の拳の世界とかでしょう。しかし、空手の本当の姿はそればかりではありません。今ここに空手道の本当の姿と目的を理解していただく為、空手道と武道の紹介をしたいと思います。

現在の空手道は過去の空手道の歴史なくして観る事はできません。空手は江戸時代に沖繩で始められました。藩主からの強い圧力から身を護る為に作られたそうです。それが大正初期、船越義珍先生によって日本本土に伝えられ、現在ではスポーツ空手などと呼ばれながら世界中に広がりました。それでは、この歴史を参考にしながら

空手道とは何であるかを考えてみましょう。

初めになぜ空手をするのでしょうか。空手を始める理由は人によって違います。僕の場合、プロレスラーになりたくて始めました。幼稚園の頃はアントニオ猪木にあこがれ、先生の目を盗んでプロレス技をしたり顎を鍛えたりしたものです。もちろん今では違います。他にけんかに勝つ為や健康の為に始めた人もいました。しかし、これは最初の考えであって、成長すると同じ理由になります。強くなる為にするのです。でも、一撃必殺という意味だけではありません。心も強くなければいけません。苦しい心を倒す力、スーパー精神力などが必要です。すべて力に強くなるのです。そして、空手家達はいろいろな理想の道を行くのです。ちなみに僕は優しく強い空手家を理想としています。

次に空手家の中身を詳しく観てみましょう。空手には理想の道があるとは言え、絶対に忘れてはいけない事、それは身を護る為にあるという事です。これは武道全てに当てはまる事です。『日本空手道の父』船越義珍は空手道二十箇条の中でこう言われました。

『空手に先手なし』『勝つ考えは持つな負けぬ考えは必要』――

私はこれを空手道の真髄としている。空を切った刀は鉛よりも鈍いが、控えた鉄拳は殺人の威力を包んでいる。拳を愛し、技を使う事は武道本来の目的たる品性の陶冶、養正への一つの過程なり。」

要するに空手は攻撃に用いてはならない。悠々たる心境で負けぬ様努力せよ、こういう事なのです。次の様にも言われました。『道場のみの空手と思うな』『全てを空手化せよ』『空手の修業は一生』――空手道なるものは内には俯仰天地に恥じざる心を養い、外には猛獣をも慍伏せしめる威力がなければならぬ。心技内外兼ね備わって

めて完全なる武道と言えるのである。

要するに武道家は絶大なプライドを持ち、信を持って行動せよ、こういう事なのです。偉い人の言う事は難しいとはいえ皆さんは理解できたでしょうか。この二つの文は一般の人々にも参考になると思います。

しかし、最近では空手も変わってきています。武道の競技化、スポーツ化という事です。もちろん、磨かれた技を競い合ったり、スポーツと武道との調和により老若男女を問わず愛好されるようになった事は大変素晴らしい事です。しかし、その前に肉体的鍛錬、技術の向上もさることながら精神的、道徳的修練を磨く武道である事を忘れて欲しくありません。



下手な文章でしたが、空手そして武道というものに少しでも興味を持っていただけたでしょうか。僕は空手を通じていろいろな経験をしました。失敗もすれば感動もし、バックアップしてくれる友もできたし、今ではライバルもいます。空手でなくても武道でなくとも何でもいいですから興味を持って、挑戦して下さい。良い経験ができるはずです。

スーパ―慈恩

本名 ？ (昭和四十七年四月八日)

空手家 昭和五十三年致道館三好道場入門 昭和五十六年より六年間 市大会無勝、六十二年 市大会三位、府大会四位、六十二年 市大会六位などさまざまな記録を残す。この作品は過去の

作品である『僕と空手』と『空手道修業の心得』を足して二で割った。

上町台地に雨が降る

二年 Henry. R

壁の藤は根から切り離されて枯れ果てている。
蔦は青々としているというのに。

湿った冷たい空気が漂っている。

日の光はかすかに雲をすりぬけてきている。

古校舎は着々と崩されてゆく。

電気のこの音が湿った空気を伝わってくる。

突然、ガラスの碎ける音がした。

窓ガラスが叩き割られているのだろうか。

ぞっとした。

雨を浴びる緑が美しい。

それ以外の物体には色相がないのだ。

府庁のチャイムが流れてきた。

上町の坂の途中に在する大手前高校。

上町台地に、雨が降る。

1988. 6. 8 (wed) 0:30 PM

信じるもの

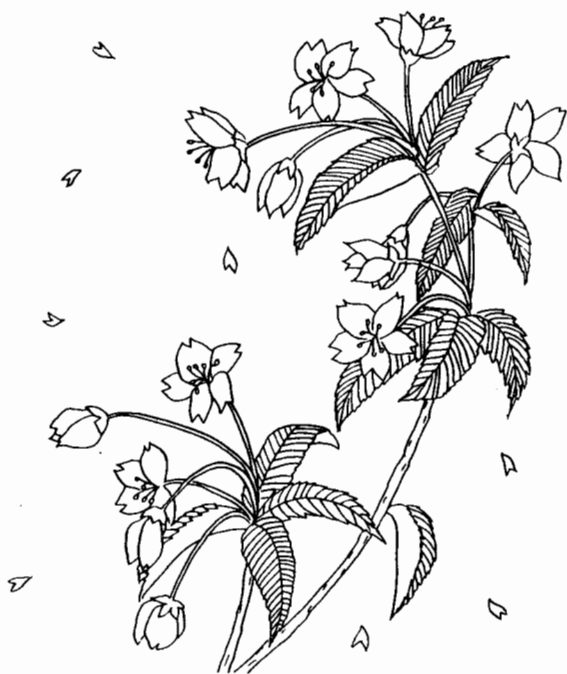
二年三組 中 波 八重子

だれも見たことはないが
確かにそれは存在すると
人々は確信していた
ある人はそれを黒いと思い
ある人はそれを赤いと思った
そして人々はそれを信じた
嘔吐のようにこみあげる不安に
立ち向かう勇気をもてない人々は
それを信じた
天からの糸がおりるのを待った
空をみあげて
涙をながした
目に見えない何かは
少しほほえんだようであり
少し顔をしかめたようであった
なまあたたいかい空気につつまれたくて
体中の震えを感じたくて
一瞬のはほえみでいいから
と
人々はねがった
人よりも

自分よりも

人々はそれを信じていた

ああ 早く 下を向きたい



これを読んでいる人——ひまなんですねえ

Introduction

Introduction

あなたと自治会

「見えない糸で……」

自治会——と言うと、「ああ、またか」と言われるかも知れませんが、「自分達には直接関係ない。」というのが大半の意見ですし、実際、関係ないと思っていても、文化祭や体育大会に参加出来ます。でも考えてみて下さい。もし、自治会執行部が仕事をしなければ、文化祭も、体育大会も、出来なくなってしまうはずです。より良い行事を行う為に、また、受け身でない為に、何かやってみようと思いませんか。そんな行事は要らない、と言う人は、廃止案を出してみればどうですか。そんなあなたの願いを、実現しようとするのが自治会なのです。



自治会が何をしているのか、よくわからない。役員の顔も、名前するも知らない。

これはごく当たり前のことですが、自治会にとっては大きな悩みです。何故なら、これを読んでいる人も、そうでない人も、大手前生であれば、全員、自治会普通会員だからです。会員が知らない自治会。これは、本来ならば、あってはならないものなのです。

ただ、自治会のことを知ろうとしても、自分が入るか、或いは友人が入っていないとわからないのが現状です。ですから、少しでも自治会に関心を持ってもらい、理解してもらう為に、これから出来る限りお話していきます。

そもそも、自治会というものは

- ① 各種の問題について積極的に活動する。(代表会議、生徒総会)
② 各種クラブ活動を通じ学校行事に参加する。

(文化祭、体育大会)

- ③ 校長並びに教官と生徒の間の意志の疎通をはかる。

以上生徒手帳より抜粋

ものであり、大手前生みんなのものなのです。今、一般に自治会と言われている、活動している組織は、自治会執行部です。

忘れた頃にやってくる生徒総会は、全生徒の最高決議機関——つまり、総会で承認されたことは、全生徒の意志としてゆるがないものなのです。代表会議は、数多く開くことが困難な総会の代行機関です。自治会常任委員会というのは、自治会四役(会長、副会長、書記、会計)と、庶務、厚生、文化、運動、集会の各部長、及び一、二年学年代表で構成されていますが、実際は、拡大常任委員会として、議長、会計監査、書記補佐、会計補佐を加えた十七人で活動しています。(自治会組織構成の図参照)

自治会執行部の仕事は、

- 4月 クラブ紹介 前期役員選挙 生徒総会
5月 校内バレーボール大会
6月 コーラス大会予選 文化祭
9月 水泳大会 体育大会 後期役員選挙
10月 生徒総会
11月 球技大会(女子ハンドボール 男子バスケットボール)
1月 予餞会
2月 球技大会(女子バスケットボール 男子サッカー)

後期として次年度予算作成

があります。詳しくは行事紹介を御覧下さい。

ところで、自治会費について御存知ですか？普通会員(大手前高校生徒)は、自治会費を納入する義務があるのです。要するに、大手前の生徒であれば皆、年間千七百円ずつ自治会費を支払っているのです。その使用用途については、毎年度始めの生徒総会で会計より報告があり、承認をとっており、プリントも配布されています。予算の多くは、各種行事(文化祭、体育大会等のクラス補助金もそうです)、クラブ予算、そしてこのスプリングで占められています。

スプリングでは、今年もまた、毎度おなじみの自治会座談会を、執行部を少しでも知ってもらう為に行いました。題して「88自治会言いたい放談」始まり始まり！

'88 自治会言いたい放談

一九八八年十二月二日(金) 自治会本部室に於て

出席者 一九八八年度 前期会長 和 仁 威

同 議長 三 谷 義 治

後期会長 福 西 健 二

同 副会長 佐 野 ひろみ

同 会計 中 島 良 一

同 運動部長 田 村 忠 之

同 会計監査 廣 澤 隆

スプリング編集委員 松 本 知 佐 子

北川 和博
中川 博之

私はこれで自治会に入りました

松本「どうして、自治会活動をしようと思ったんですか。」

三谷「和仁君の動機、言いましようか。私聞きましたよ。『俺がせなあかんと思ったからや。』」

和仁「でも、何で立候補してんやろな、今から考えるとよくわからない。」

三谷「僕なんか自分で（立候補の届出用紙を）書いたなあ。一度やってみようって。」

中島「僕は、自治会室の前通ってて、フラーと入って来て、立候補しますっちゅうて、何となく気紛れでやろかなあと思って。」

佐野「私も何となく。」

福西「口ではこんなこと言うてるけど、結構一生懸命やってんで。」

田村「一年生でやったら面白いで。俺も去年、副部長やけど一年でやってて、二年に知り合い出来て、いい人がいっぱいおったから、今度は俺がやったらうと思った。何もやらんと卒業していくよりも、誰も経験せんかったことをやった方が面白い。」

三谷「それに、卒業してから、自治会長やってんぞって言えるのは嬉しい。」

考える執行部、普通会員の心を掴め！

田村「自治会ってさ、外（外部）から見ると何やってんのかよくわからへんけど、中（内部）に入ってみたら、やたら仕事ある

もんな。会計予算なんか、普通の人関係ないもんなあ。」

松本「でも、本来やったら会計なんて、全員が注目しなければいけないことでしょう？」

三谷「だから、見学人がこの辺りに一人や二人来てもいいと思うけど。」

和仁「ちょっと真剣な話して、クラブの予算請求でみんな頑張るやろ。」

三谷「それで押して、お金おりたら、後はまたバイバイ。」

一同（笑）
三谷「自治会費をな、月賦払いにしたらええねんな、月に幾らかづつ徴収して。」

中川「自分が自治会役員であるという」実感湧くと。」

福西「未納やったらどうなんの。」

三谷「行事なくなる。」

一同（笑）

和仁「それにしても関心持ってもらってないねんなあ。」

ちょっとそれるけど、夜遅くなったら、ガラス張りのところから（運動場側）定時制の人達が、自治会のやってる仕事を興味深げに見てはんねん。だから、全日制の、自治会員には、もっとしっかり関心持って欲しい。」

中川「でも、これ、外から見とったら、やっぱ怖いんちゃう？ほんま入りにくい。」

福西「部屋の形自体悪い。戸を開けてから受付まで来んのに五歩位歩かなあかん。」

三谷「でも、これだけの自治会室持つてる学校も珍しいで。普通、

この半分位ちゃう。」

和仁「やっぱり宣伝するしかないんとちゃうかな。入り易い自治会。皆さんの自治会。」

福西「そやけど、根本的に用事がないから来ない。」

和仁「考えてんけど、例えば、自治会室に来る時にお楽しみクジを作る。当たったら、手作りの何かをあげる。そしたら、しょうもない用事を作ってくる、と。」

一同（笑）

福西「自治広報、後期は十枚出すとかいう話やで。」

和仁「でも、自治広報出してて虚しくなのは、いきなりヒコークキになってる。」

一同（爆笑）

田村「自治広報にな、試験前に予想問題載せんねん。」

中川「ふうん。」

* * *

廣澤「自治会が何か大会開いても、学校がやってるように思われている。何ほ言うても解らんし、何ほ言うても解ってくれへんし。」

田村「毎年同じことやってるやんか。だから、その時々自治会に色がないねん。」

福西「何か一つ印象づけなあかんねんな。」

和仁「何もせん、やったら通らんわな。だから自治会の存在が薄れていって、自治会離れが激しい。」

福西「一遍、今までやってきた行事、全部なくしてしまったら？自治会なくすのは無理やから、結成はすんねんけど、そいつら何もやらん。でも自治会室だけは開けといて、みんな居るだけは

居んねん。ほんだら、みんな来るやん。（笑）自治会室に入るきっかけは出来る。」

三谷「ボイコット事件。何もしませんが、何もしませんが。スト。」

廣澤「一年それやったら、絶対、（自治会の）必要性がわかる。半年でもええわ。五、六年は語り継がれるし。この際、今度の校内大会、内容変えよう。全然。」

福西「全部マラソン大会にする。」

和仁「猛批判やな。総辞職覚悟。」

田村「もし、成功したらええよ。失敗したら・・・」

廣澤「失敗したら、『失礼しました。すいませんでしたあ！』言うて総辞職。」

松本「でも総辞職したら、次、やる人おらへん。」

福西「一遍何かやってみてな、失敗して辞職したってな、辞職した後、どうなるかって。強いで」

和仁「兎に角、物事を変えんのは時間がかかるから、（新しい執行部が）発足した時点で動き出さな出きん、ちゅうのが問題点やな。」

代表会議って、とっても大切な機関なんだよ

和仁「後期の人もそのうちわかんと思うけど、やっぱりクラスの副会長さんは、帰ったら、もうちょっと意見伝えて欲しいなあとと思う。こっちも二度手間になるんですよ。というか、一遍伝えたことも（クラスで）言ってなくて、同じことをプリントに刷って配るとか。また、重要な配布物の時に代表会議を欠席されると、そのクラスをまた、呼び出さなきゃいけない。」

福西「軽く考えられている。」

和仁「一応は最高決議機関。ま、減多に議決せえへんけど。」

田村「だから、行っても一緒やん、とか言うて。」

三谷「そういうのから変えていったらいいねんけど。」

中川「昼休みになるとな、メシ食いたがねん。」

三谷「放課後になると早く帰りたいとか、クラブに出たいとか。」

福西「結局、来たないねん。」

立合演説会Ⅱ 信任率 その心は？

福西「会計監査の場合、一人やと思ってる人が、決戦投票と間違えて投票するから、信任率が低なるねん。」

三谷「あれ（信任率の高さ）は、どういう順かいうたら、演説の短い順。」

福西「それは有名な話やな。」

三谷「そうやってきたんが、だいたいあかんねんな。演説、聞いてくれるようにしな。」

廣澤「本当は演説が充実していれば、充実してるほど、信任率が高いのが当然やねん。」

福西「立候補した奴を知る手段いうたら、演説しかないのにな。」

三谷「全部で二千人もおって、そのうちの一人やのに、何で演説も聞かんでわかるか、や。何で投票してるか言うたら、極端に言うたら、サイコロ振って決めてんのと一緒。」

最後に・・・あなたに贈るメッセージ

和仁「まあ、まとめて言うて、やんばり何かしなあかん、というこ

とやね。それから、僕、最初、選挙した時、公約言うたでしょ。色々新しいことしたいと。全く出来なかったのが、非常に遺憾なことなんですけど、我々は努力した！ということをや、皆さんよろしく。」

佐野「一年生でも、もっと入ってくれればいい、というのと、私が入る時、友達と一緒にやろうって誘ってんだけど、凄く忙しいっていうのが定着してるから、誰も入りたがらなくなってる。」

廣澤「忙しさを楽しさにかえな。忙しい言うてたら、何も出来へんで。」

田村「ほんまに、大手前の何かをやったというのは思い出にもなるし。他の人に出てへんことをやるっていうのが、自治会の面白さであり、良きなんじゃないかなあ。（笑）」

北川「しゃべらんと、ずっと聞いとただけやけど、自治会の黒板に何か書いてあったり、落書きしてあんのみたりすると、自治会やってんねんなあと思うし、それに、普通会員が自治会に親近感持てへんて言うてるけど、ちょっとかじってみたら、自治会の感じが掴めて面白いと思う。」

福西「会長としては、自治会を好きになろうと思ってるわけですよ。好きにならんと何も出来へん。この学校も好きになろうと自治会会長になってから結構学校来んの面白いいし、でも（帰るのが）遅くなった時に、（自治会本部室の）鍵を預らなあかんていうのは、凄く責任やな。次の日、学校休まれへん。で言いたいのは、責任持たたくないって人が多いな。腹立つことも結構あるし、責任持ったら面白いこともあるねんから、逃げんて欲しいな。」

松本「本日は御協力有難うございました。」

注：座談の雰囲気によりよく感じて頂く為、出来る限りそのままでの言葉を使用致しましたので、わかりづらい箇所があるかもしれませんが、御了承下さい。

座談会を欠席された中波さんが原稿を寄せてくれました。

一九八八年度前期副会長 中波 八重子

一学期も終わり頃、全学年各何クラスかに、文化祭についてのアンケートに答えてもらいました。いくつかの項目があり、最後に「自治会本部について、何か御意見等がありましたらお願いします。」というものを設けました。その欄に、「先生の手下」「偉そうだ」という文をみた時悲しく、しかし、これが生徒の本音であると思いました。現実をみせつけられたような気がしました。

先生も生徒も、みんな人なのです。だから、腹が立てば怒ります。自分勝手になる時もあります。誰だっているんです。私たちは立場上、そうなるのはならないことだらけかもしれません。でもどうかみんな同じような人間なのだとわかって下さい。私はそういう時、「人間」を感じます。自治会に入っそう思うようになりました。

しかし、みんなと私たち本会役員は、少しもかわらない、同じような生徒であるということを、もっとわかって欲しいな、と思った時、ふと、こうも考えました。それならば、私たちは自分は本会役員である、と特別視してはいけないのではないかと。

私たちだって本会役員にならなければ、きつと今ほどは自治会のことを考えなかったと思います。そういうことも念頭において、どうしたらみんながもっと自治会という存在に興味をもってくれるかということを考えなければいけないと思います。

私は今（一九八八年度後期）、書記補佐という中心部から少しはずれた所に位置しているわけですが、後期は少し離れて、批判的に客観的に本部の動きをみていこうと思ったからです。中にいるとどうしても見えなくなってしまうことって、多分にあると思うんです。

みんなは別に自治会について考えなければならない、ということがないから考えないだけであって、自治会のことを考える時間と機会がないのだと思います。だからさりげなく少しずつでも、自治広報等で興味をひくようにしなければいけないと思います。例えば、体育大会ならボツになった競技、オープニング等、常任委員会の議決の内容等を堅苦しくなく載せよう等とも考えていました。

私は誰に推薦されるということなく、ただただ、このような自治会というものが好きで立候補しました。今では何をしていたかわからないほどの忙しさが定着していて、自治会の仕事がないと寂しく思うようになりました。私にとって自治会とは、高校時代を思い出す時、真っ先に自治会のこと、あの汚い部屋、そこで会った人々のこと、そしてその時そこにいた私を思い出す——そんな存在なのです。

行事紹介

我が大手前高校には非常にたくさんの行事があり、他校にはないような行事もあります。それらを今から紹介するのですが、今回はその実態を私の本音もまじえてやっていきたいと思います。これ为本当の大手前？がわかるかもしれませんよ。

● 四月

四月の行事でまず最初にあるのが入学式。新一年生はこれで大手前高校に入ったと実感する日です。ですが、本当の大手前高校は、これからよくわかりますよ。（たいがい自分のイメージの大手前高校と一致する人はまずいないでしょう。）そして次の日からオリエンテーション、2・3日後にはクラブ紹介があります。オリエンテーションでは迷路のような学校の説明があります。そしてクラブ紹介では運動・文化系のクラブが部員獲得のために必死に勧誘してきますので、クラブの説明を聞いて、よかったなと思っても必ずしもその通りであるとは限らないので（人生、そんなに甘いもんじゃありません）よく検討してから入部しましょう。そして月末には校外教授、いわゆる遠足があります。これは場所や何をするかなどを自分達で決めて行くので、まだなじんでないクラスになじんでくるのもこの頃です。

● 五月

一日は我が校の創立記念日ということで休みです。そして中旬には中間テストがあります。一年生にとっては高校に入っ

● 六月

て始めてのテストなのですが、中学校のテストは2日で終るところが5日間もあるので最終日あたりには忍耐力だけが頼りです。そしてテストが終わった次の日にはバレーボール大会があります。ここでの二、三年生の迫力はすごい！テストでのストレスをボールに込めているのか知りませんが、一年生はたぶん圧倒されると思うので、それに負けないようにがんばりましょう。

六月には一体何があるでしょう？そうです。我が校の文化祭があるのです。これは一年の行事で一番おもしろいと思います。六月に入ると、クラスが文化祭一色になって、勉強なんて頭から宇宙のかなたまで飛んでいってしまいう日が続きます。放課後に残って準備をしたりで忙しい毎日が続き、クラスが団結して一つの事をやるなんて、まさに「青春」そのものじゃないでしょうか。

文化祭の簡単な説明は次のとおりです。

第一部・これは日曜日に行います。一般の人でも来れるのでみんな友達とかを呼ぶんじゃないかな。校内では各クラスが行う喫茶店、劇、映画、バザー、カラオケなどの催しが開かれます。それと文化系クラブでは、活動発表ということで展示・発表などが行われます。文化祭の中では一番おもしろいと思います。（もちろんおもしろくするのはあなたが自身ですが・・）

第二部・第一部終了後、運動場でフォークダンスを行うの

ですが、絶対に参加した方がいいんじゃないかなあと思うのですが、（特に普段女子と手をつなぐ事など全然ない人）それはあなた達の自由ですのでよく考えてきめましょう。私があなた達に言えるのは「後悔さきに立たず」という事です。

第三部・第一・第二部が行われた次の日、月曜日にあって、

これは本校の生徒のみということで少し落ちています。この日は文化系クラブの発表だけでクラスの発表は行いません。その他には、映画や合唱コンクール（文化祭前に予選がある）の本選などがあります。次の日は休みになります。

● 七月

七月には期末テストしかない！でも半分は休みになるから仕方ないけど、テストしかありません。テストが終われば休みだと思ってテストに手を抜いてしまう人もいるでしょうが、テストが終わって休みがあるから一生懸命にやらなきゃいけないのじゃないでしょうか。テストが終わると一年生のみ地獄の水泳訓練が緑地公園であり、よく泳げる人ほど地獄を見ることがでしょう。

● 九月

九月には運動系の行事がたくさんあります。まず夏休みあけすぐにある水泳大会。水泳大会は個人競技が多いので、あなたの腕の見せどころですよ。プールサイドで見ているあの人の声援に答えることができるように全力を尽しましょう。そして、下旬になると体育大会があります。各クラスがオリジ

ナルのはちまきとたすきを造ってクラスが一同となって、応援し盛り上がります。それと「騎馬戦」はすごい！どんなのかというと・・・それは当日のお楽しみですが、良ければストレス解消になって快感ですが、へたをすると地獄を見ますよ（私は二回騎馬戦に出場しましたが、一年の時は最悪、二年の時は最高でした。）

● 十月

中間テストがあります。二年生は一、三年生よりも一週間早くて、テストが終ると修学旅行に行きます。高校時代の思い出と言えば「修学旅行」というぐらいですから、二年生は十分楽しんで来て下さいね。それと一、三年生はもちろん○○○○を期待しますので、忘れないで下さい。

● 十一月

十一月には文化系クラブの人が待ちにまっている文化系クラブ発表会があるのですが、土曜日の放課後にするし、運動系クラブでは活動があるので大半のクラブでは部員十数数のお客様だけで不思議？な世界を作っているようなのでそのクラブの実態を見る事ができますよ。それと校内大会ということで男子はバスケットボール・女子はハンドボールの試合が昼休みと放課後に行われます。これもかなり盛り上り、見ていられるだけでもかなり興奮します。みなさん、優勝を目指してがんばって下さい。

● 十二月

期末テストがあります。テストが終ると、桜宮スケートリンクでスケート教室が3日間あります。水泳教室のように強制

「へいせい」の「へい」の字が怖いのは私だけでしょうか？

先生紹介

参加ではなくて自由参加ですが、毎年たくさんの方が参加しますし、先生方も参加しますので、先生方の素晴らしい？滑りを見に行くだけでも参加する価値があると思います。それとみなさん、よい年を迎えて下さいね。

● 一月

この頃から、三年生はだんだんと少なくなってきました。そうです大学入試が迫ってくるので、その準備にかかっています。三年生のみなさん、笑って卒業できるようにがんばって下さいね！それと下旬には予餞会という三年生を送り出す（追出す？）会があります。

● 二月

もう恒例になっている地獄の大阪城マラソン大会があります。寒いのに半袖、単パンで男子は外堀2周、女子は外堀一周を走ります。はつきり言ってしんどいんだけど、完走した時にはそれなりの充実感が得られて走ってよかったと思うにちがいありません。それと卒業式で三年生が我が校を巣立ちます。

● 三月

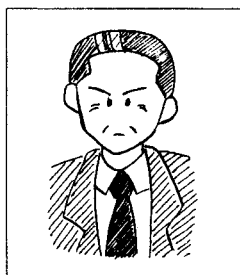
今までの成果が学年末テストで示されるでしょう。これでへたをすると、2回目の修学旅行になるかもしれません。そしてテストが終ると信州へ四泊五日の楽しい楽しいスキー教室に行きます。終業式にはまっ黒な顔がたくさん見られるでしょう。



アンケート内容：①担当教科②生年月日③教師になられたきっかけ

④自己PR⑤今の大手前生に送るメッセージ

うめもとつお
梅本哲朗教頭先生

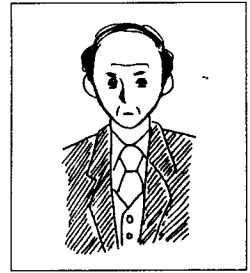


①社会②一九三二年八月二九日③家庭の事情と消去法的選択という中で、子供と社会科好きを生かせそうだったから。④ある友人の占いによると、「孤独の開拓者」とでた由、以来、気に入った言葉として自分を励ます時思い出している。人はA型だろうと言うが、自分はB型だろうと思う。古寺探訪と囲碁を好む。⑤良き伝統をどう時代に合わせで発展させていくか、が課題。全体として優れた品性とマナーの良さに敬意を表し、今一步の覇気を望む。

すみぎあつひろ

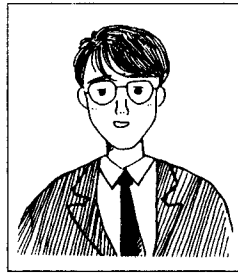
角崎篤弘先生

①英語②一九五二年十月二七日③中学生の時教わった素晴らしい英語の先生を尊敬していたので、高校生ぐらいの時から自分も教師になりたいという希望を持っていた。④何事にも挑戦するチャレンジ精神



なるもと きよひこ
梅本清和先生

神で行きたいと思っている。気持ちだけは若い教師です。⑤先輩達が築いた古き良き伝統を受け継ぎ、学校の行事等にも積極的に参加し、勉強面にもスポーツ面にも精一杯の努力をし、有意義な高校生活を送って下さい。



(東大より京大、巨人より阪神) ⑤テストの点だけではなく「人格」の方も高めてください。他人から言われなくても掃除はまじめにしましょう。

なからい ようこ
半井庸子先生

①理科(化学) ②一九五三年四月八日 ③中学頃までは、教師になり



してもいいのではと思います。

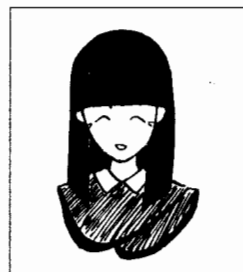
ばばたくや
馬場卓也先生



①数学②一九六一年七月四日 ③知りたい人はゆっくりと話をしましょう。④「フィリピン語、教えます。」⑤ここ数年、国際化が叫ばれています。国際化する為には、やはりまず自国のことをもっともっと知らなければ、と思います。高校生活は、自分自身ということについて考える時期でしょうが、同時に自分の属する社会にも興味をもつて下さい。

ふじい けいこ
藤井慶子先生

①国語②一九五〇年魚座③大学で国文学科に学び、その延長にあるもっとも手近な職業ということで教職に就きました。④話をするの



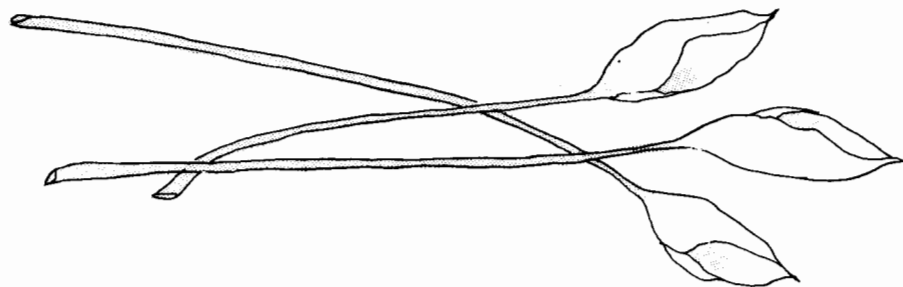
みなみ さえ
南美佐江先生

が苦手な自分が教壇に立つことに引け目を感じています。けれど、語る言葉はまことの言葉でありたいと願っています。
⑤自分を生かす力と他を思いやる心を育ててほしいと思います。

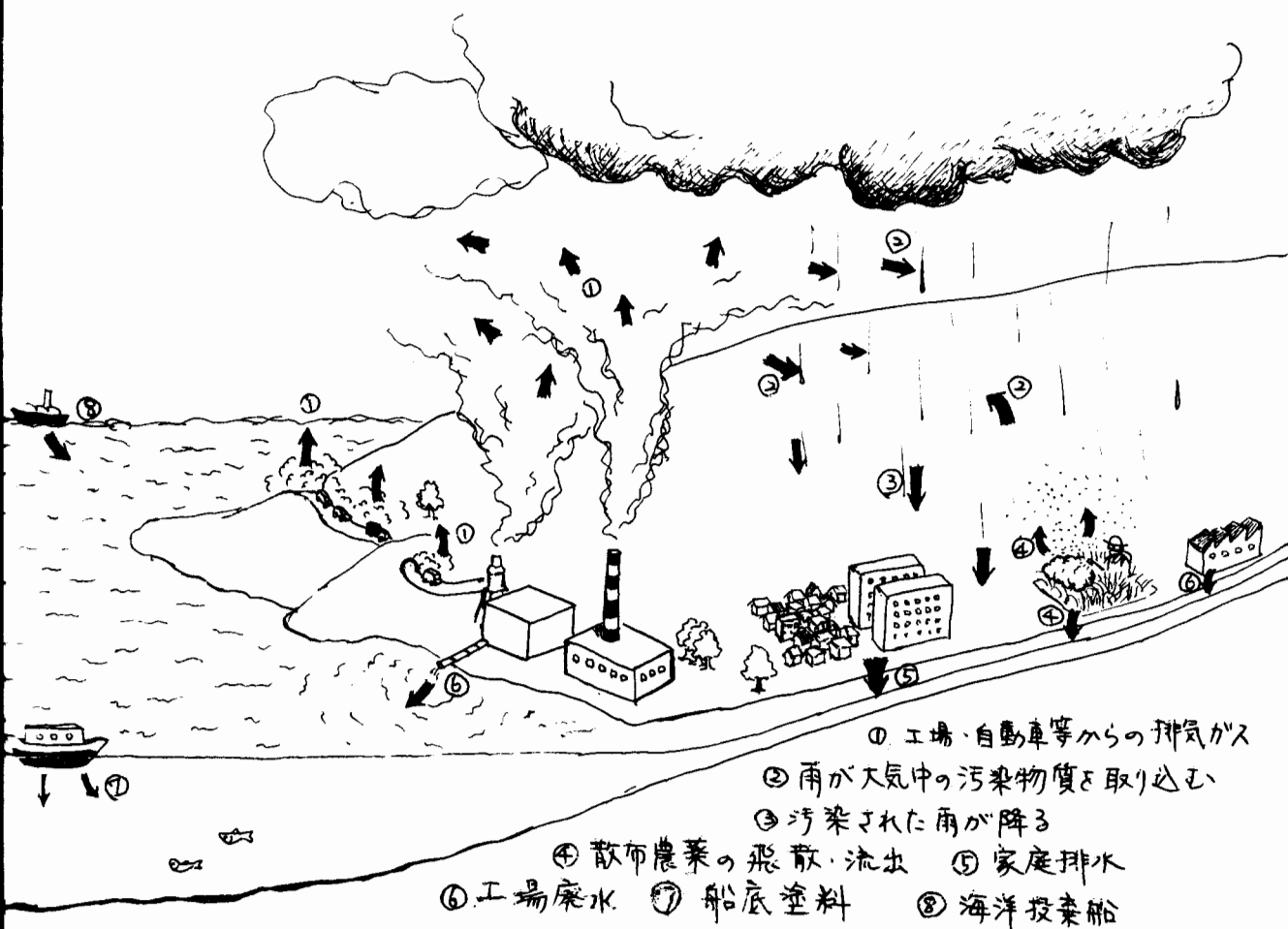


①英語②一九六二年十月二十九日③高校時代「あんな先生になれたらな」と思う先生がたくさんいらっしまったこと。教育実習がとても楽しかったこと。大手前のおかげです。(ヨイショ!)④好奇心旺盛、向こう見ずで楽道家。おかげでしばしば大ケガをする。長所：あかるく元気。短所：かるくて短気⑤「やる」と決めたなら、持っている力の100%を出しきってみてほしい。「案外、自分はpowerがあるんだな」「やればできるんだな」って、自分を信じてあげること、大切だと思います。

岩田先生は、ご病気の為回答を頂くことができませんでした。ご了承ください。(スプリング編集委員会)



Nature



破壊・汚染・そして保全

二年十組 小坂 恵

0 序

ようこそこのページへ。

環境問題に興味を持つ私がNature班で一筆書かせていただきました。「つまみ食い」の様な読み方でも結構、ざっと読み流して下さっても結構。そして少しでも環境について考えていただければ幸いです。

1 破壊？

「環境破壊とは何ぞや」そうですね、例を挙げるなら森林の木をむやみやたらに切ったり、山を削って土砂崩れの原因を作ってしまったら、珊瑚の生きている海を埋め立てたり、他にフロンガスで地球上空のオゾン層を破壊したり、川原にごみをバイ捨てしてそこに住む生物に悪影響を与えたりするのもそうでしょう。つまり、人間の勝手な行動によって自然の平衡を崩すことだと言えると思います。

自然の平衡とは素晴らしいものです。中学校の理科を思い出して下さい。確かヤマネコとノウサギでしたか、「ヤマネコの数が増える」と餌のノウサギの数は減る、そうすると食いはぐれるヤマネコが増えてきてヤマネコの数が減る。すると敵が減ったのでノウサギの数が増える・・という例がありましたね。「何のことはない、放つというそうなるもののどこが素晴らしいねん」確かにそれは当然の事です。

が、自然はいつもそうやって各々の生物の数を保つのです。自然は決して或る生物を滅ぼしたりはしません。人間はどうなんです？他の生物を滅ぼすわ、自分達の首を絞める様な事をするわ、これは空前絶後の性悪生物かもしれないですね。

そう言えば私は『人間の勝手な行動』と書きましたが、『勝手な』とはどういう事でしょう。私はこう思うのです。人間も本当は自然に含まれる生物、自然の平衡に支配される生物です。木を切る、魚を獲る、人間が生きてゆくのに必要な量、程度ならば他の生物を犠牲にしても許されます。が、度を超すとそれは許されない事です。即ち欲張って他の生物の命を奪ったり、傲慢さ丸出しで他の生物をないがしろにしたりという行為は『勝手』そのものです。環境破壊とは、人間の度を過ぎた振る舞いによって他の生物若しくは人間自身が迷惑を被る事、と言えるでしょう。

2 空気・水・土——環境汚染

環境汚染も、環境破壊に含まれる事です。しかしこちらは毒性のある物質で「破壊」するのです。

少し考えてみて下さい。空気中にはどんな有害物質がありますか？SO₂、NO_x、炭化水素、オキシダント・・煤煙、石綿・・すさまじいいたらありやしない。工場や自動車等からの排棄ガスが飛散しますからね。

では水はどうですか？家庭排水や工場の排水。もうあまりにも多いですね。それから、農地から流出する農薬も忘れてはいけませんね。農薬と言えば、最近取り上げられたのがゴルフ場で使用される農薬。思えばゴルフ場は山林を切り開いて造るものであるから、

自然破壊でもあります。そしてあるゴルフ場からの排水から農薬が検出された、という話を私はテレビで見ました。

土はどうかと言いますと、やはり耕地の残留農薬でしょう。以前は水銀を含む農薬が使われていましたが、その水銀はなかなか消えないと聞きました。今は一体どうなっているのでしょうか。他には有害廃棄物を捨てた所の土が汚染されるというパターンがあります。

どうですか、空気・水・土と見て来ましたが、どれも人間に取り込まれる物です。「おい待てえ、土なんか食べへんぞ。」確かにそうですが、多くの食物が土のお世話になっているではありませんか。米、野菜、果物、植物は土中に根を張り水や養分と共にやはり有害物質も取り込んでしまっています。空気・水・土の汚染は即ち人体の汚染だと私は言いたいのです。

実は、自然は汚れたら汚れっぱなしではありません。自然には自浄作用があるのです。とは言うものの、今や汚染の程度は自浄作用の限界を超えてしまっています。故に地球上は毒だらけという状態に陥っているのです。

空気・水・土と三つに分けて例を挙げたのですが実はこの三界を有害物質は循環するのです。循環する間に分解する物もあります。しかし、水や熱や光や微生物やその他によっても分解されにくい物質、これは地球上を巡り巡ることになります。その様な物質は空気・水・土を巡回しながらあらゆる生物に取り込まれます。そして例の「食物連鎖」の輪に組み込まれ、生物は食物と共に有害な物質を摂取する事になるのです。もう一つ重要な事を書きましょう。「生物濃縮」です。「食物連鎖」の輪で、生物から次の生物へ進むと有害

物質の濃度が高くなってゆく現象です。（と言って解ってもらえたかどうか）これは、有害物質が体内に入っても排出されない様な時に起こります。更に、世代交代の時、つまり親が子を産む時にも濃縮が起こります。卵や胎児は成体よりも毒に対して感受性が強く、少量の有害物質でも死に到るのです。

もう一つだけ付け加えましょう。この世にはびこる有害物質は決して一つや二つではありません。そして有害物質の毒性は「足し算」ではなく時として「かけ算」或いはそれ以上になります。いわゆる「複合汚染」です。数多い有害物質をどう組み合わせるとどのような害が出るか、などと尋ねるのは野暮というものです。組み合わせはあまりにも多いのです。（はつきり言って「数との格闘」だ！）そしてその害が露見する時——人類は、どうなるのでしょうか。

3 保全・あなたと一緒に

いやあ、今の現状を書き連ねていると、書いている本人まで暗くなってしまう。

そこで解決法を——それは、難しいことです。自然は、一旦破壊されるともう人間の手には負えないのです。残念ながら。ですから破壊や汚染をもうこれ以上進めないこと——保全——が大切になるのです。

環境保全。一体、何をすれば良いのでしょうか。木の伐採現場に「キヲキルノヲヤメヨ サモナクバ・・・」などと脅迫状を送るのでしょうか。馬鹿馬鹿しい。全国の車の走行を阻止すべく、燃料の流通を止める？ ソンナアホナ——冗談はこれ位にして、私に言える



のは、もっと現実を知って欲しい、という事です。私自身、このあまりにも大きな環境問題についてはほとんど何も知ってはいないのですから、どうか、関連の本を探して読んで下さい。新聞・テレビ・雑誌など気を付けて見て下さい。遠い所にある様に思えるこの問題も、私達が手を伸ばせばすぐそこにある事に気付くでしょう。

或る日私は、環境問題に携わっておられる方に、「環境保全に携わるにはどの様な進路を選べば良いか、環境問題をどの様に見てゆけば良いか」という様な質問の手紙を出しました。幸いにもそのお二方から返事を戴きました。返事のお手紙の中にこの様な言葉がありました。「大切なことは、あなたの心の中に、ヒトも自然の中で生きているんだ、自然の一員である、という気持（視点）を持ち続けることです。そういう気持ちがあれば、どんな所においても、環境保全につとめることが出来ると、私は思います。」「環境問題は、単に科学的、技術的問題ではなく、社会的、経済的、政治的・問題でもあるからです。」私はこの言葉を心に留めて環境問題を見つめてゆくつもりです。そして皆さんも、皆さんが興味を持っている方面からこの大きく、広く、そして重い問題を見つめては如何でしょうか。

アサギマダラの習性

一年六組 大阪のアサギマダラを調べる会

昆虫に関しては、未だに解明されていないことがたくさんあります。アサギマダラもその中の一つです。私は、大阪のアサギマダラを調べる会に入会して五年間学んできました。そこで、アサギマダラの習性について二つほど書いてみようと思います。

アサギマダラは、移動する蝶として有名です。移動を調べるためには、まずマーキングをしなければなりません。マーキングとは、採集個体にマークをつけて放すことです。マーキングの成果の例をあげると、四月二六日に種子島でマークされた個体が七百km離れた三重県の鈴鹿山地で五月二三日に再捕獲されました。五月三十一日に種子島でマークされた個体は、七月十六日に千六百km離れた福島県白河市で、十月二十日に鹿児島県日置郡でマーキングされた個体は、十一月一日に四百km離れた奄美大島で、静岡県から三重県に移動したものもあります。金剛山頂付近の調査では、最も長いもので二十一日後に再捕獲されたものがあります。北海道では、アサギマダラの卵、幼虫、蛹のいずれも見つかっていません。しかし、夏には成虫を見ることが出来ます。沖縄では、夏になるとアサギマダラはどこかに消え去ります。これらの条件からアサギマダラの水平移動について考えると、夏は暑い南方から涼しい北方に、冬は寒い北方から暖かい南方へと移動しています。そして、過ごすのに適した場所に留まるようです。

ただ季節風に運ばれているだけかもしれません。どちらにしても

実験結果表

1回目

日 色	1	2	3	4	5	6	7	計	%
赤	3	5	5	0	2	6	6	25	10
黒	10	6	30	14	24	28	32	144	55
黄	1	1	1	3	2	3	1	12	5
青	1	6	6	11	0	15	6	45	17
白	1	5	4	7	1	5	10	33	13
計	16	23	44	35	29	57	55	259	100

2回目

日 色	1	2	3	4	5	6	7	計	%
赤	1	4	3	3	4	2	0	17	4
黒	9	14	11	12	17	14	15	92	19
黄	0	0	1	2	1	2	0	6	1
青	10	4	7	4	4	6	7	42	9
白	11	6	8	10	10	3	7	55	11
茶	36	46	42	30	37	42	41	274	56
計	67	74	72	61	73	69	70	486	100

れる個体は、卵巣や精巣が未発達なため水平移動、吸蜜、雄は植物から性フェロモンの前駆物質であるピロリジジンアルカロイドを取り込むことが主目的のようです。

アサギマダラには、枯枝にとまる奇習があります。この習性を初めて観察した人が外国人であることが「新昆虫」の六巻からわかりました。その外国人の名前は、John Henry Leechです。彼は、一八八六年に支那から渡来し、九州の上甕島で多数のアサギマダラが夕刻に縦の枯枝に止まるのを観察しました。アメリカではオオカバマダラがある一定場所の特定の本立で集団越冬します。沖縄でもリユ

気候と関係があるのは確かです。垂直移動の仮説も書いておきます。低地で見られる個体は、卵巣や精巣が成熟していることから交尾・産卵が主目的と思われるかもしれません。高地で見ら

ウキウアサギマダラが特定の本立で夜を過ごします。マダラチョウは、共通してこのような習性をもっているようです。そこで、この習性に関連する実験について書いておきましょう。温室内のアサギマダラは、夕方になると多数の成虫が鎖に集まり良い場所を取り合うようにしてとまるそうです。これを利用して本立が色に関係するか調べるために実験が行われました。実験は二回行われました。一回目は、五色の鎖（赤・黒・黄・青・白）を天井から吊るしどの色にとまるか一週間記録しました。二回目は、茶色を加えた六色で行いました。実験の結果は、どちらも枯枝の色に一番近い黒色と茶色によく集まりました。しかし、この実験は、鎖でしたもので色の好みしかわかりません。木などで実験を行えば、もっとたくさんのがわかるでしょう。

アサギマダラは、この二つの他にもたくさんの面白くて興味深いことがあります。しかし、それらの殆どがまだ解明されていません。私は、これらが少しでも解明されることを望みます。そのためには、多くの人の協力が必要です。これを読み終えた人の中から一人でも多くこの美しい蝶に興味を抱くことを望みます。そして、少しでも多くの人が一緒に謎に挑んでくれることを願います。



単なるひとりごと

二年 寒河 桂

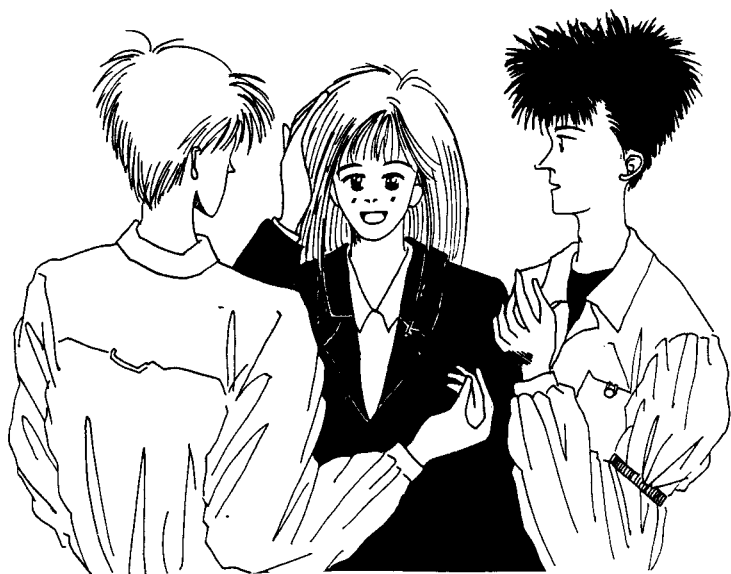
人類は滅びるか否か。私は「*Yes*」と答える。原因なんてどうでもいい。いつの日か、滅びてしまうだろう。

「もし明日人類が滅亡するならば、何をするだろう」そんな言葉を入り込みの中から拾った。あなたの答えはどうだろう。きっと私は翌日素直に死ぬであろう。今その時が来たのだな、とかみしめて。

地球上にさまざまな生物が生まれ、栄え、そして滅びてきた。それぞれにもっともな理由があった筈だ。私達には理解できないが、「自然のなりゆき」の一言で済んでしまう様な理由が。そして、今人間においてどんな原因が、どんな結果をもたらそうとしているのだろうか。

人間が地球上に登場してから長い年月が流れた様に思えるが、地球の歴史から見るとほんの微かな期間であった。今、人間の歴史の幕が降りたとしても、単なる一生物の興亡ではないか。そんな事で、大騒ぎするのは何かしら空しい。

人類が滅びたっていいじゃないか。自然がそれを望むのならば……などと言う消極的・退廃的思想の私ではある。お粗末でした。



G

え

ね

し

れ

よ

え

ん

GENERATION

二年九組 森垣世子

“GENERATION”この言葉を見て、貴方はどう思いますか？辞書でこの言葉の意味を調べてみると、①同時代の人々②一代③出産・生殖・（電気などの）発生、という意味があります。今回は①の同時代の人々という意味で、私たちの世代、俗にいわれている新人類について考えてみたいと思います。何か現代社会Bか倫理の授業みたいでいややな？と思うかもしれませんが、一緒に考えてみませんか？

一般に私たちの世代は三無、あるいは四無、そしてひどい場合には六無主義、七無主義とも言われています。三無には無気力・無関心・無責任、そして四無には無感動、六無には無学力・無教養、七無には無行動が付け加えられています。では、なぜこのように言われているのでしょうか。心理の面から分析してみたいと思います。

―無気力―

無気力とは、困難に堪え、何かをやりぬこうとする強い精神力のないことを意味します。

例えば、難しい数学や物理などの問題が解けなかったとき、あるいは、英語の長文や国語の要約が出来なかったときに、絶対にやってみよう、と思わずに、まあええかと思っただけで、やる気がなくしたりすることと考えることが出来ます。（ただし、意地でも解くという貴方は例外でしょう。）

これらはやはり日常生活が非常に豊かになって、特別何の苦勞も

することがなくなってきたからではないでしょうか。TVやラジオをつければ、様々な情報が流れています。それによって、自分が特別に何かをしなくてもいろいろなことを知ることが出来ます。そのことによって、自分を試そうとか、心を鍛えようとしなくなります。だから、うまくいかなければあきらめが早く、チャレンジしない。飽きやすく、ねばりがいから気力が失われて無気力となります。

―無関心―

無関心とは、何に関しても深く知ろうとする気持ちが薄くなっていることを意味します。

例えば、化学で実験をしているときに、どうせ結果がわかっているから、こんな面倒なことは他の人にやってもろたらええわ、と思ってやっていると見ようとしないうと考えることが出来ます。

しかし、無関心というものは私たちの世代に特有のものなのでしょうか。誰でも自分に興味のないものに強い関心を持たない場合が多いのは当然です。それに興味のあるものに強い関心を持つものです。でも、ここでの無関心はこのようなものではありません。そのような無関心ならば、単に興味がない、というだけで無関心ではありません。もし、貴方が何にも好きなもの、あるいは興味をもてるものがない、まして、深く知っても仕方がない、そう思っているのなら、ここであっている本当の意味の無関心なのです。

―無責任―

無責任とは、自分の行動の結果に対し、それがどのような結果になろうともひき受ける心構えを持たないことを意味します。

例えば、何かの係りや委員をしているときに、不都合なことが起こったとします。そのときに、自分が引き受けていることなのに、そのまま放っておいて、あとで誰かがちゃんとしてくれるわとか、何とかなるやろ、と思うことと考えることが出来ます。

これは、理屈が多く利己的で打算的であることが関連しているように思われます。これこそ、私たちの世代には特に多いのではないのでしょうか。今の世の中は学歴社会ともいわれています。この社会の中では偏差値によって自分の人生、それに、自分の価値までもが決められようとしています。(決められてしまっているかもしれない。そんな。その上、勉強さえ出来れば何をしてもかまわないと考える風潮さえあります。しかし、このような世の中だからこそ、自分の行動に対して責任を持たなければいけないのではないのでしょうか。確かに学校行事でクラスの人みんなが力を合わせてしなければならぬことで、係り、委員が中心になってやっていることであれば表面的な責任はそれらの人にあるので、たとえ失敗に終わったとしても、他の人は自分には何ら関係がないと思うでしょう。批判したいだけ批判することも出来ます。しかし、これではあまりにもひどすぎるとは思いませんか？

―無感動―

無感動とは、美しい行為・話・芸術作品などを見たり聞いたりしたときに、人間の理想に触れた感じがせず、また充足感を覚えないことを意味します。

例えば、映画館やTV、あるいはビデオか何かでものすごく可哀想な映画を見たときに、まわりにいる人たちははらはらと涙を流しているのに(これは個人差があるので、あまり一般的ではありません

んが)、何をみても、何を聞いても何も感じず、心の中にジーンとくるようなことのないことと考えることが出来ます。

これは人と人との人間的な心の「ふれあい」が少なく、孤立してきているからといわれています。現代社会は、管理社会・機械社会・競争社会であるので、家庭生活においても親子の人間的接触が少なく、心の交流も少なくなっているために、愛情的・親和的人間関係が育たないためということが出来ます。しかし、これを批判することが出来るのでしょうか。確かに、感動もしなく、無愛想な顔をしていれば新人類だ、と型にはめてしまえば簡単に処理できます。でも、感動するとかいう心の動きは強制することは出来ません。私たちの世代にみられる無感動は、世の中にゆとりが出てこない限り、なくならないかもしれません。

―無学力―

学力とは、修学の結果、身についた能力、またその程度を意味します。しかし、ここでの学力とはそのようなものではありません。ここでのいう学力とは、実行力、つまり応用力を指します。

無学力とは、例えば極端な例ですが、数学の試験はよく出来るのに、買物が出来ないことと考えることが出来ます。

これは本当に極端すぎるかもしれませんが、同じように考えてみると、英語の試験はよく出来るのに、英語が母国語の人に話しかけられてもうまく対応できないことも言うことができます。学校の勉強がかんばしくなくても、ふとした時に応用して実行することができれば学力がある、と考えられると思います。しかし、学力とは試験のよしあしを指して、行動力・応用力ではないと世間ではいうのかもしれませんが、でも、例のような学力なら、あっても仕方な

いと思いませんか。

—無教養—

教養とは、広い知識から得た心の豊かさ、あるいは、はば広く精神（知・情・意）の修養を積んで豊かな精神的活力を身につけていることを意味します。

無教養とは、例えば、電車の中で傍若無人に大きな声でさわいだりすることと考えることができます。

これにはかなり耳の痛い人が多いのではないのでしょうか。私たちの世代も、中年の女性も同じようですが、あまり恰好のよいものではありません。

—無行動—

無行動とは、自分の意志で何も行わないことを意味します。

これは、親の言うとおりに育てられ、親の一方的指示が強かったために、自分の意志で何もすることが出来ず、しなければいけないことも、言わなければならないと言いうことができます。つまり、いつまでも自分でも何も出来ないということで、無行動ゆえに無学力、無学力ゆえに無行動といえるでしょう。

六無主義にしる七無主義にしる、よいものではありません。新人類特有のものと考えられるものもあれば、新・旧両人類にあてはまるものもあります。七無主義の中に入らなかったものに、

○感覚的・即興的な行動をする

○刺激追求をするが、もろいところがある

○社交性があり、明朗・親和的であり、行動的である

○自己の人生に対する哲学的思考がない

○生きがいがないでいる

○なかま・集団志向性・組織的行動をする

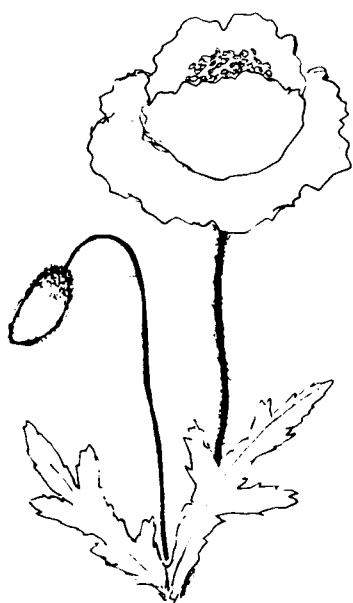
などのような心理的特徴があります。しかし、これらは私たちだけでなく、いつの時代のGENERATIONも持っていることで、旧人類や化石と呼ばれている人たちも新人類だったのです。

こう考えてみると、私たちの世代は今の時代のバロメーターといえるでしょう。新人類だからといって悪い面ばかりでなくよい面もいくらかもあると思います。しかし、昔の新人類たちよりも悪い面が増えてきているとしたら、自分たちの世代を同じ世代の人間（GENERATION）として見つめ直してみなければいけません。そして、そうすることによって、より私たちの世代を時代のバロメーターとして生かしていくことができるのではないのでしょうか。

—参考資料—

松本伸夫著

『思春期心理学』



共通責任論

二年 ワレイマダモクケイニオヨバズ

「このクラス全然おもんないわ、おもろいやつおらんねん。」そういう声をしばしば聞くことがある。そう言っている本人も当のクラス構成員であるにもかかわらずだ。ならば、自分も面白くないやつらの一人で、自分でそれでいいと思っているのだろうか。

例えば、一般にまとまりに欠けるクラスで、LHRの時間に何をするのか決まらずに、雑談の時間と化してしまうことである。そんな時、我々は教師に与えられる助言によって、かろうじて救われる。それが良いのか悪いのか別として、中心となるべき素質のある人物（外向的性質所有者）がいないわけではない。その原因は、その人物が「リーダーシップをとる」とはどういう事か理解してないことに多く起因する。「面白い人」それだけでみんなが慕ってくれるはずなからう。尊敬されるまでいかなくとも、好感を持たれるだけで、その人物は活躍できるのだ。だから、もしクラスの大多数の人と根底でつながり、決してうわべだけでない付き合いをする人がいたら、その人はクラスをまとめることができるだろう。

我々は小さい頃から敷かれたレールの上を走ってきた。生まれた時から、既に軌道に乗った社会があった。国民はすべて平等だから、地位、役職を決めるのは能力だ。だからみんなと同じように勉強した。たえず他人と違う事をしないように努力してきた。出しゃばったりすれば、どれだけマイナスになるか知っていた。「出る釘は打たれる」的な思想が根づいた。変わった人間、特徴のある人間が、

少なくなりつつあるような気がするのは私だけだろうか。探求心、好奇心（“知的”でなくとも）、フロンティア精神等々、失いつつあるのではないか？ 気質という部分だけにおいてかろうじて他人と差異を保っている気がしてならない。がっちりとしたシステム化された社会では、“盛り上げ役”も変わった人も凡人のように振まう。その方が楽だからである。果してそれでいいのか。

我々は、クラスでの人との交わりにおいて、少しでも危険を感じれば、回避する傾向がある。それでいて「このクラスおもんないわ」というのは明らかに他力本願というものである。周波数がちよつと違えば「あいつとは馬が合わん」と言う。また、人を外見や雰囲気だけで、その人の内面を見ずに嫌いだと言う。

とりあえず、三、四人友達を作って、それで安心。修学旅行の班を決めるときに余り者にならんかったらええわ。休み時間になったら、とりあえず群れる。クラスが変わったらバイバイ。

結局、クラスが面白くないのは当然である。我々には自分自身を改革し、自己啓発することを始めなければならないだろう。面白いやつ、リーダーシップをとってくれるやつを待望するというのは甘えすぎである。こういう考えが、「誰かやるやろ」という学校行事に對しての無関心さ（本校の自治会活動の退廃を見ればよくわかる。）に結びつくのだろう。小学生の時に背負ったランドセルのように、山登りの時に背負う荷物のように、背負って立つ自覚が必要である。

“背負って立つ心がけ”それが我々の義務であり、それを果たすことが我々の共通の責任ではなからうか。

編集後記

日 直

(2-8)

梶間 貴志

連続で編集委員になっ
た自分は〇〇人です。

(2-16)

松本 知佐子

ペンダコが泣いている。
but 幸せ気分です。

(2-14)

津山 栄一

ここは何処
私は誰？

(2-3)

北川 和博

昭和から平成への
過渡期、記念すべき
29号！

(2-10)

小坂 恵

やっと完成！明日から
の生きがいはいは……？



Special thanks to.....

右馬野由紀さん、大谷直子さん、岡崎博子さん、文化
委員、地歴部、漫研、投稿、御助言、校正をして頂きま
した沢山の先生方、そして数え切れないほどの方々、どう
もありがとうございました。
尚、一部の投稿作品を掲載出来なかったことをお詫び致し
ます。
ありがとうございました。

(2-9)
森垣 世子
G担当は私です。御意
見お待ちしております。

(2-14)
中川 博之
大阪城に梅林 OAC
もしくは SPRING

(1-15)
北潟 知子
完成したのは皆様の協
力のおかげです。

顧問
福島 直子

(1-16)
青山 貴子
お疲れさまでした。
ありがとうございました。
た。